

1 . 平成 1 6 年度事業報告書

1 . 概況：重点活動状況

本会の会員数は平成 3 年度をピークに年 500～800 人相当の減少が継続している。中でも産業界の会員において会員の減少が顕著に見られる。その理由は複合的なもので一概には言えないが、社会環境の急激な変化に対し学会活動の対応の遅れなどから学会離れが進んだことは一つの大きな原因と思われる。一方、大学、国立研究所等を含めた学界の会員は減少しているとは言えず、むしろ微増傾向にあるが、長期的な目で見るときには必ずしも安心できない。たとえば、将来の研究活動の母体となる学生会員の正会員に対する比率は他の学会に比べて低く、若手研究者の学会への参画を促すことも重要である。本会は、社会の進展に対応して、日本の情報関連分野全体をカバーするフラッグキャリア学会として、企業、大学、研究所をはじめ、様々な背景を持つ人々それぞれにとって魅力的な新たな組織に生まれ変わらねばならない。

このような問題意識を背景に、平成 16 年度の重点活動として次の 4 点を掲げた：(1) 産業界への貢献と会員サービス、(2) 研究活動の展開、(3) 教育活動、(4) 英文論文誌の発行と国際化の推進。

会員の状況を含め、これらについて以下に概況を報告する。

1.1 会員の状況

(1) 学生会員

学会の活性化のために、学生会員の獲得とその育成が肝要であるとの認識のもとに、会長を中心とした学生会員増強タスクフォースにおいて、各支部ならびに研究会の支援を得て精力的な検討を重ね、諸施策を実施した。その結果、次 2 項 (p.3) に示す通り、16 年度の学生会員数は 210 名の増加となった。15 年度の 153 名の増加と比べると、活動は少しずつでも成果を挙げていると思われる。17 年度からは、学生会員の研究会登録費を 1 研究会のみ無料とする施策を実施し活動を加速させる。さらに、学生会員増強タスクフォースを発展させた「学生会員育成委員会」を設け推進体制を整えるとともに、学生会員の正会員への移行・定着の促進に努める。

(2) 正会員

正会員の減少傾向には歯止めがかからず、残念ながら今年度も 877 名の減少となった。昨年度は 768 名の減でありむしろ拡大となった。退会した正会員の大半は従来と同様に産業界の会員である。これについて次 1.2 項に示す通り、今年度から実務家と研究者の双方の橋渡しとなるような活動を積極的に展開するため新たに技術応用運営委員会を立ち上げて活動を開始したが、その効果を得るまでにはなお時間を必要とする。

1.2 産業界への貢献と会員サービス

(1) 技術応用フォーラム

実務家に向けた活動を活性化するため技術応用運営委員会を組織し、実務家が学会活動に積極的に参画できるよう技術応用フォーラムを立ち上げた。

その一環として「ソフトウェアジャパン 2004」を、情報処理推進機構ソフトウェア・エンジニアリング・センター (SEC) と共催し、産業界とのコラボレーションを推進するとともに、日本のソフトウェア強化のムーブメントの展開を図った (情報サービス産業協会 (JISA)、日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS) 他協賛)。数多くのスポンサーとサポーターの参加があり、参加者 364 名の内、産業界が

らの参加者は 301 名と期待通りであった。

また、IDG ジャパン主催の「Web サービスカンファレンス」を後援し、学会講師による記念講演・パネル討論ならびに展示ブースにおける学会紹介を行うとともに、「Winny 事件を契機に情報処理技術の発展と社会的利益について考えるワークショップ」を、セキュリティ委員会を中心に情報ネットワーク法学会と共催し、400 名の参加者を得た。さらに、日経 IT プロフェッショナルのメルマガに会誌記事をアレンジして掲載し、学会の知名度向上を図った。

これらの点の活動を繋げ、線から面への拡大を如何にして行うかが 17 年度の課題である。

(2) セキュリティ委員会

情報セキュリティに関する見解の発信および学会システムのセキュリティ維持確保を目的としてセキュリティ委員会を設置した。

個人情報保護法の全面施行に対応し、プライバシーポリシーの改訂、個人情報保護関連規約の策定、関連業者との契約改定を実施した。

1.3 研究活動の展開

(1) 将来の研究活動の母体となる学生会員の獲得と育成を目指して、学生会員増強タスクフォースと連携した活動を推進している。

(2) 学生会員が研究活動に積極的に参画し、学会活動に興味を持続できるように、17年度以降の学生会員の1研究会登録費の無料化を実施する。

(3) 研究活動の広がりを目指して、新規研究グループ等のインキュベートを企画した結果、17年度は2研究会、3研究グループが新たに発足する。

(4) FITの広がり

これまでの本会と電子情報通信学会（情報・システムソサイエティ（ISS）、ヒューマンコミュニケーショングループ（HCG））という枠組みに縛られることなく、他の学協会も自由に参加可能となった。この広がりという意味するところは大きい。また、日本と韓国を中心としたASEAN諸国によるFIT Internationalが検討されている。

1.4 教育活動

(1) アク্রেディテーション

平成 16 年 10 月に経済産業省委託事業として JISA/JUAS の協力により、JABEE 普及啓発シンポジウムを開催した。JABEE 認定プログラム修了生は、最低限の技術知識 ITSS レベル 0 を満足していること、および伝統校が JABEE 認定を受けない現状では産業界における JABEE の意義は浸透しないことが、産業界から強く訴えられた。17 年度はこれに対し、真摯な回答を用意する必要がある。

(2) 生涯教育、資格制度

JABEE 認定修了生の技術士一次試験免除に伴い、技術士の責務である CPD (Continuing Professional Development) に対し学会としてどのように対応していくかを生涯教育委員会を中心に明確にする予定であったが、進捗していない。また、同様の目的の日本工学会の推進する PDE 協議会構想も暗礁に乗り上げた格好である。学会としてはこれらの意義を考え直し、十分なコンセンサスの下に推進する必要がある。

(3) コンピュータ博物館

「オフィスコンピュータ」「ワークステーション・Lisp マシン」「日本語ワードプロセッサ」「周辺機器」のカテゴリと、「誕生と発展の歴史」を追加した。日本のコンピュータの歴史の全てが掲載されているため、各方面からの利用依頼が絶えない。

1.5 英文論文誌と国際化

(1) 英文論文誌

国際化の重要な一歩として平成 17 年 1 月 12 日に国立情報学研究所 (NII) の支援を受け、科学技術振興機構 (JST) の J-STAGE (Japan Science and Technology Information Aggregator, Electronic) 上にオンラインジャーナル IPSJ Digital Courier を発刊した。また、トランザクション編集委員会とジャーナル編集委員会が連携することにより、トランザクションの英文論文を IPSJ Digital Courier に掲載する体制が作られた。

今後は関連学協会と合同のオンラインジャーナル IT Archives の発刊を目指す。

(2) 国際的な情報発信

インターネット時代に相応しい英文ホームページが完成した。初回は最重要と思われる 57 ファイルを作成した。併せて今後の英文ホームページの担当理事も各業務担当別に明確にし、タイムリーな情報発信を可能とした。

コンピュータ博物館コンテンツの英文化を推進中である。

英文図書出版の主目的は、情報処理学会関連の研究動向を海外に広く情報発信することを再確認し、"Advanced Information Technology Series"を継続して刊行することとした。

2 . 会員の異動状況

会員種別	会員数		増減数	前年度 増減数	備考:16年度の異動				
	16年度末	15年度末			入会		退会		除名
名誉会員	39	38	1	3	2	正会員から異動	1		
正会員	20,812	21,689	-877	-768	757 601	学生会員から異動	1,492 2 3	名誉会員に異動 準会員に異動	738
学生会員	2,168	1,958	210	153	1,193		364 601	正会員に異動	18
準会員	57	47	10	2	14 3	正会員から異動	3		4
個人会員 計	23,076	23,732	-656	-610	2,570		2,466		760
賛助会員 (口数)	321 (454)	331 (451)	-10 (3)	-21 (-17)	22 (44)		32 (41)		

* 入会には復会、再入会を含み、退会には死亡退会を含む。正会員には終身会員(167名)を含む。

3 . 会議等に関する事項 (総会, 理事会, 各種委員会)

付録 1 (p.15 ~ p.24) に掲載する。

4．事業の状況：研究・調査ならびに研究発表・学術講習会などの開催（定款5条1号）

4.1 調査研究活動 [所掌委員会：調査研究運営委員会]

研究会（33）と研究グループ（3）が研究分野ごとに「コンピュータサイエンス領域」「情報環境領域」「フロンティア領域」のいずれかの領域に所属し、調査研究活動の活性化を図った。

各研究会等の詳細、および研究発表会（143件）、シンポジウム（22件）、小規模国際会議（1件）の開催状況の詳細は、付録2（p.25～p.30）に掲載する。

(1) トランザクションの編集

研究会活動の一環として研究会による論文誌（トランザクション）の編集を行った（p.7, p.32 参照）。また、論文誌（ジャーナル）編集委員会内に設置された特集企画グループへ委員を推薦することにより、論文誌（ジャーナル）編集委員会との連携を深めた。英文誌の立ち上げに際しては、トランザクション編集委員会とジャーナル編集委員会が連携することにより、トランザクションの英文論文を英文誌に掲載する体制が作られた。

(2) 新規分野の開拓

研究グループの新しい形態の提案を行うとともに、新たに2研究会（フロンティア領域：エンタテインメントコンピューティング研究会、バイオ情報学研究会）、3研究グループ（調査研究運営委員会：福祉社会システム実務研究グループ、コンピュータサイエンス領域：組み込みシステム研究グループ、およびフロンティア領域：ネットワーク生態学研究グループ）の申請を承認した。

(3) 学生会員の取り込み

学生の（1研究会に限り）登録費無料化の検討を行い、来年度から始めることを決断した。

(4) 研究会の学会経営への参画提案

学会活動の多くを支えている調査研究分野（研究会）がより積極的に学会運営に参画することを目指して、調査研究分野からの理事の選出を理事会に提案した。

(5) 領域および研究会の運営方法の検討

領域担当理事の選出に関する議論を進めた。また、研究発表会の支援システムに関する検討を行った。研究発表会の支援システムについては引き続き仕様検討を行い、次年度に構築を予定する。

(6) 諸活動との連携・協力

領域委員会を通じて委員の派遣やプログラム編成等、全国大会への協力を行った。FITについては、委員等の派遣を行うとともに、FIT International に関する意見交換を行った。また、45周年記念事業である情報処理ハンドブックの編纂に向けた協力を適宜行う。

4.2 教育活動 [所掌委員会：情報処理教育委員会]

(1) アクレディテーション

日本技術者教育認定機構（JABEE）の活動に参画し、本審査を実施した。（情報および情報関連分野で2004年度に認定されているのは5教育プログラムとなった。）審査員養成および受審準備のための研修会・セミナーを8月に開催し、シンポジウムを3月の大会特別セッションとして開催した。また、10月にJABEE普及啓発シンポジウム（経産省委託事業）「本格段階に入ったJABEE認定制度

の普及と活用 - 情報技術教育を中心とした促進策について - 」を開催した。

シンポジウム等の開催状況の詳細は、付録 2 (p.30) に掲載する。

認定での “ 習得すべき知識・能力 ” の最低水準についてコンピュータサイエンス (CS) 小委員会での検討を基に議論を重ね、FIT2004 での特別セッションでも広く意見を求めた。ソフトウェア工学 (SE)、情報システム (IS) の各小委員会では、日本での標準カリキュラムの検討と並行して、ACM/IEEE で進められているカリキュラム検討に加わりその報告書に足跡を残した。

財政基盤と事務局体制について WG を設けて検討を進める方針を固めた。

(2) カリキュラム

SE, IS についてはアクレディテーションと関連して標準カリキュラム検討を進めた。(1)高等学校での教科「情報」の設置を受けて、大学での一般情報処理教育のあり方を検討し、望ましい形の教科書を発刊して世の中に示した。(2)初高等学校での教科「情報」のあり方について教育情報システム学会とシンポジウムを共催して議論を行うとともに、広く小学校・中学校・高等学校の児童・生徒への働きかけについても初等・中等教育小委員会内で検討を開始した。

(3) 生涯教育

技術者の生涯教育について、生涯教育委員会で検討を進めた。企業での高度情報システム技術者の養成を支援する制度設置に向けて試行を開始した。技術士制度と関連して CPD の制度を検討しているが、実行案策定には至っていない。

(4) JST 委託事業

独立行政法人科学技術振興機構 (JST) からの委託により、同機構の運営する Web ラーニングプラザの「情報セキュリティ」「ソフトウェア工学」コースの教材の制作を行った。昨年度開発した「情報ネットワークコース」と共にアクセス数はトップクラスである。

4.3 事業活動 [所掌委員会：事業推進委員会]

各開催状況の詳細は付録 2 (p.30 ~ p.31) に掲載する。

(1) 全国大会

第 67 回全国大会を平成 17 年 3 月 2 日 ~ 4 日に電気通信大学において開催した。今大会では、現在ホットな話題をテーマに招待講演、特別トラック、特別セッションなどのイベントを企画、また学生セッションを通常の一般セッションと併せて行った。講演件数は、前回は若干上回る 1,088 件 (一般セッション 343 件、学生セッション 720 件、特別トラック 11 件、デモセッション 14 件) の申込みを得ることができた。総参加者数も首都圏大会で 4 大会連続 2,000 名を突破した。

(2) FIT2004 第 3 回情報科学技術フォーラム

FIT2004 (第 3 回情報科学技術フォーラム) を平成 16 年 9 月 7 日 ~ 9 日に同志社大学において開催した。査読付き論文は 321 件の投稿があり、うち 112 件が採録され、採録となった論文のみを集めた情報技術レターズ (Information Technology Letters) に掲載された。またイベント企画は、(1) 研究会提案型、(2) 現地提案型、(3) 本委員会提案型の 3 本柱で構成しそれぞれ趣向をこらしたイベントが開催された。

(3) 連続セミナー

年度中に 6 回開催した。

連続セミナーのここ数年の参加者数、収支状況を見ると長期低落傾向にあることから、このようなセミナーに需要がないのではとの意見が事業推進委員会が出されたが、連続セミナーとしての事業を事務

局人件費まで含んだ費用構造で見ると赤字ではあるものの、突然の中止は来年度予算の立案，実施上の問題が大きいと見られ、来年度は、従来どおりの形式で実行し、来年以降に継続・中止または別方式での実行について検討を行う。

(4) プログラミング・シンポジウム

年度内に 3 回のシンポジウムを開催した。

4.4 歴史調査活動 [所掌委員会：歴史特別委員会]

(1) コンピュータ博物館

平成 16 年 11 月にリニューアルを行い、「オフィスコンピュータ」「ワークステーション・Lisp マシン」「日本語ワードプロセッサ」「周辺機器」のカテゴリと、各々に「誕生と発展の歴史」を追加した。この作成にあたり平成 16 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の交付を受けた。また、平成 17 年度リニューアルに向けた作業を開始し、これに関連して平成 17 年度科研費の申請を行った。実物の所在地情報一覧を新たに設けた。

年表および日本のパイオニアの英文化を行った。また、歴史的コンピュータの解説文の英文化費用を電子化特別会計から拠出し、英文化を行った。

(2) オーラルヒストリー

3 名のインタビューを実施した。

(3) 卓越技術データベース

電気電子・情報関連技術史委員会より、昨年に引き続き卓越技術に関するデータベース化作業の委託を受け、選出作業を行った。

5. 事業の状況：会誌および学術図書の刊行（定款 5 条 2 号）

各発刊状況の詳細は付録 3（p.32～p.33）に掲載する。

5.1 会誌「情報処理」（月刊）[所掌委員会：会誌編集委員会]

(1) 会誌の編集

8 月を除く毎月 1 回編集委員会を開催し、会誌「情報処理」第 45 巻 4 号から第 46 巻 3 号まで計 12 号（本文 1,335 ページ、広告 116 ページ、平均発行部数 23,282 部 / 号）を編集発行した。和田編集長のもと、記事の構成およびレイアウトを工夫し、役立つ会誌、読みやすい会誌の編集を心がけた。本年度から新たに始まったシリーズに「インターネット生活向上委員会」「アジア IT 事情」「Web サービス」等があり、特に「Web サービス」は産業界を対象とした技術応用フォーラムと連携した企画で、実務者からも好評であった。また、日経 IT プロフェッショナルと連携し、毎号会誌の特集記事を日経 IT プロフェッショナルの Web サイトで紹介していく企画を開始した。

(2) 広告の状況

IPJSJ メールニュース、バナー広告とも掲載がとぎれることなく順調に進んだ。また、会誌の方も 12 月号に大口の広告が入り、予算を大幅に達成した。

(3) オンデマンド印刷サービス

会誌のオンデマンド印刷サービス事業（BookPark）を引き続き行った。BookParkでの売り上げの多くは非会員であり、会員外への情報提供を積極的に行うという当初の目的を果たすことができた。

5.2 「情報処理学会論文誌（ジャーナル）」（月刊）〔所掌委員会：論文誌編集委員会〕

(1) 論文誌の編集

8月を除く毎月1回定例の編集委員会を開催し、「情報処理学会論文誌（ジャーナル）」第45巻4号から第46巻3号まで計12号（論文248編，テクニカルノート8編，本文2,727ページ，平均発行部数5,442部/号）を編集発行した。

(2) 月刊体制の維持

「情報処理学会論文誌（ジャーナル）」の一般論文，特集論文を含めた月刊体制を維持した。投稿数は維持しているが，掲載論文数は前年より減少傾向にある。

(3) 編集企画体制の強化

編集企画体制の強化として，特集企画グループによる特集号「産学連携論文特集」および「社会人学生論文特集」が2005年5月号掲載に向けて進行中である。

(4) 英文論文誌の発行

英文論文誌を，ジャーナル，各トランザクションで採録された英文論文により，2005年1月からIPSJ Digital Courier（NII平成16年度国際学術情報流通基盤整備事業に採用）をJ-Stageで発行した。

5.3 「情報処理学会論文誌（トランザクション）」〔所掌委員会：調査研究運営委員会〕

研究会が編集した「情報処理学会論文誌（トランザクション）」5誌を年度内に計15号発行した。

5.4 学術図書

(1) 創立45周年記念DVD 〔所掌委員会：出版委員会〕

機関誌，トランザクション，および研究報告を収録した創立45周年記念DVDを，平成18年3月開催の第68回全国大会に合わせて発行することを決定し，仕様策定および業者選定を行った。

(2) 情報処理ハンドブック 〔所掌委員会：出版委員会〕

「情報処理ハンドブック」改訂のための準備委員会を設立し，活動を開始した。

(3) 英文図書 〔所掌委員会：英文図書委員会〕

前年度に引き続き“Advanced Information Technology”シリーズの編集を進めた。

オンライン出版についても検討したが，従来通り海外に広い販路を持つ出版社のもと冊子体として刊行することとした。

(4) IT Text シリーズ 〔所掌委員会：教科書編集委員会〕

“IT Text”シリーズの編集を進め，第20巻「コンパイラとバーチャルマシン」まで発行した。

また，一般情報処理教育小委員会と連携し，大学教養課程を対象とした一般情報教育用教科書「IT Text シリーズ（一般教育シリーズ）」を2冊発行した。

5.5 著作権

共催の国際会議など今まで著作権の在り方が明確でなかったものを整理し、手続きを明確化するとともに、「著作権に関する覚書」を作成した。

6. 事業の状況：標準化の推進ならびに普及啓蒙（定款5条3号）

6.1 JTC 1 の状況 [所掌委員会：情報規格調査会]

(1) JTC 1 の長期ビジネスプラン

2004年10月のJTC 1ベルリン総会では、現在も有効であることを確認すると共に若干のエディトリアルな変更内容をまとめた。長期ビジネスプランの実現プランについても同様にレビューし、若干のエディトリアルな変更内容をまとめた。

(2) Technology Watch 活動

JTC 1のScope内でのICT技術の今後の発展の方向、JTC 1が取り組むべき今後の活動を検討するためのTechnology Watch 特別ワーキンググループ(SWG)が2004年6月に開催され、モビリティを支える技術、マルチメディア標準化をテーマとして、Technology WatchのWebサイトの開設、Intelligent Document、Content based Image Retrieval等へのJTC 1での取り組みの可能性等を議論した。

(3) アクセシビリティに関する特別ワーキンググループ(SWG)の設置

JTC 1ベルリン総会で、アクセシビリティに関するSWGを米国提案に沿って設置することを決定した。基本的な役割はアクセシビリティ分野での標準化の進展状況のモニターと洩れている分野の識別とそれへの対応に関する提案活動である。

(4) 用語に関するAd-hoc Groupの設置

JTC 1ベルリン総会では、総会で提起された種々の技術的な問題点を明らかにするための用語に関するAd-hoc Groupの設置を決定した。

(5) Web Services スタディ・グループ(WSSG)活動

WSSGは2003年のJTC 1シンガポール総会で設置され、2004年ベルリン総会ではWSSGの提案通り、WSSGをさらに1年間継続することとなった。

(6) Privacy Technology スタディ・グループ(PTSG)活動

2003年のJTC 1シンガポール総会で設置されたPTSGは、2004年6月にモントリオールで会議を開催したが方針が打ち出せず、さらに9月上旬に電話会議を行って2004年のJTC 1総会へ向けた報告のみをまとめた。

(7) JTC 1 Directives AG 会議報告

JTC 1ベルリン総会で設立されたJTC 1 Directives Ad Hoc Groupの第1回会議が2005年2月にロンドンで開催され、ISO/IECのジョイントDMT(Directives Management Team)からのJTC 1 Directivesに関するガイド、および時間切れでJTC 1ベルリン総会では審議できなかった事項を審議した。

(8) 国際規格の出版状況

2004年の国際規格の出版数は、IS 120件、ISP 0件、TR 19件で合計139件で、昨年に比べ6件(5%)増加した。2004年に国際規格案となったものがFDIS(DISを含む)136件、DISP 0件、DTR 23件で合計159件あり昨年の実績を大きく上回り62件(64%)の増加となった。

6.2 情報規格調査会の活動状況 [所掌委員会：情報規格調査会]

(1) 日本提案による国際標準化の推進

- 1) 日本が 2004 年度提案した新業務作業項目 (NP)
 - レスポンスリンク：分散システムの実時間通信リンク (SC25)
 - 顔認証用顔画像撮影ガイドライン (SC37)
 - Amended Application-Controlled GUI of the BioAPI Specification (SC37)
- 2) 日本が 2004 年度提案した Fast-track DIS
 - DIS21117 複写機・複合機の仕様書様式およびその関連試験方法 (SC28)

(2) 国内委員会の活動状況

- 1) 議長, コンビーナ, レポータ: () 内は昨年度末との比較
2004 年度末において日本が担当している役職者は, 議長 4 名 (±0), コンビーナ 7 名 (+1), レポータ 2 名 (±0), プロジェクトエディタ 82 名 (-11) であった。
- 2) セクレタリアート
2004 年度末においては, SC2(当調査会), SC7/WG6(当調査会, NEC), SC23(当調査会), SC27/WG2(当調査会, IPA), SC28(JBMIA, キヤノン), SC29(当調査会), SC36/WG2(当調査会, 日本ユニテック) の 7 つの国際事務局を担当した。

(3) 国際会議への参加状況

248 回の会議が開催されたが, うち 214 回の会議に日本から 913 名が参加した(うち外国開催 190 回, 日本からの参加者 746 名)。なお, 当調査会がホストとなり日本で開催したものは 7 回であった。

(4) 国内委員会の活動状況

事業執行に関する委員会は計 35 回開催した。技術活動関係の委員会開催回数は, 計 464 回であった。技術委員会以下の委員総数は重複を含め 1,169 名, オブザーバは 212 名, メールメンバは 8 名であった。

(5) 全国大会における標準化活動の紹介

2005 年 3 月に電気通信大学で開催された全国大会で, SC25 専門委員会と SC32 国内委員会が具体的な標準化活動の紹介を行った。

(6) 情報規格調査会の表彰 付録 5 (p.37) 参照

7. 事業の状況：情報技術関連の国際学協会への加盟ならびに連絡・協力 (定款 5 条 4 号)

7.1 国際活動 [所掌委員会：国際業務委員会, IFIP 委員会]

国際会議の開催状況は付録 4 (p.34) に掲載する。

(1) IEEE-Computer Society (IEEE-CS) との連携・協力

IEEE-CS と本会が founder(毎年共催, 第 5 回目)の国際会議「The 2005 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2005)」を開催した。

平成 17 年 3 月開催の第 67 回全国大会において IEEE-CS 会長 Prof. Gerald L. Engel の招待講演を行った。また, 同大会期間中に, 元 IFIP 会長 Blagovest Sendov 氏, IEEE-CS 会長 Prof. Gerald L. Engel 他 3 名と本会会長他, 理事 3 名による会食, ならびに IEEE-CS とのミーティングを行った。

(2) Korea Information Science Society (KISS) との連携・協力

双方の全国大会において交互に会長を招聘し招待講演が行われている。

(3) South East Asia Regional Computer Confederation (SEARCC) 活動への参加

6月と10月にマレーシアで開かれた理事会ならびに10月の総会に、SEARCC 日本代表が出席した。

(4) International Federation for Information Processing (IFIP) の活動状況

会員加盟状況 (Full Member) は41ヶ国である。

WCC2004 が8月21日～27日にフランス(トゥルーズ)で開催された。参加者1,057名(うち日本からの参加者は35名)。

IFIP のロゴマークを40年ぶりに改訂した。

SG16 は、TC への格上げを検討している。

(5) IFIP 委員会の活動

各 TC 日本代表からの年間活動報告と、IFIP 日本代表から IFIP-GA2004 の報告を行った。また、本会の名誉会員として元 IFIP 会長(現在ブルガリア大使)の Blagovest Sendov 氏を推薦提案した。なお、IFIP との関わり方については現在のところは今までどおりメンバーを継続するが、本件は今後も検討課題とし現在の IFIP 委員長在任中(平成18年5月まで)に再度、何らかの結論を出す。

8 . 事業の状況：関連学協会との連絡および協力(定款5条5号)

8 . 1 関連学協会・日本学術会議

(1) 電気・情報関連学会連絡協議会への参加

電気・情報関連学会連絡協議会に参加し、各学会の共通の問題について意見交換を行った。

(2) 日本工学会への参加

日本工学会に参加し、関連学協会の共通の問題について意見交換を行った。

(3) 研究発表・学術講習会等の共催

電子情報通信学会(情報・システムソサエティおよびヒューマンコミュニケーショングループ)との共催による「情報科学技術フォーラム(FIT)(前4.3項参照)」他、研究発表会および学術講習会において適宜共催を行った。

(4) 日本学術会議への協力

日本学術会議の会員候補者に関する情報提供など、日本学術会議の活動に協力した。

8 . 2 会議の協賛後援等 [所掌委員会：事業推進委員会、国際業務委員会]

(1) 国内会議の協賛・後援等

日本 OR 学会第1回 OR セミナー「ルーエンバーガーの『金融工学入門』で学ぶ金融工学の基礎」(日本オペレーションズ・リサーチ学会主催、平成16年6月10日)、ほか110件の協賛・後援等を行った。

(2) 国際会議の協賛・後援等

第36回「ストカスティックシステム国際シンポジウム(SSS'04)」(システム制御情報学会主催、平成16年11月3日～4日)ほか24件の協賛・後援等を行った。

9．事業の状況：その他，目的を達成するために必要な事業（定款5条6号）

9．1 入会促進・広報活動

(1) 学生会員の獲得と育成

前1.1項（p.1）の通り，学生会員の獲得と育成を推進した。

(2) 実務家の取り込み

技術応用活動（次9.2項）により，本会のビジビリティ向上に努めた。

(3) その他

- ・各種行事等の場における入会促進，電子メールによる学会紹介，IPSJメールニュースの充実等の広報活動に努めた。また，情報関連展示会の場において本会の活動を紹介した。
- ・ホテル，レンタカー等会員優待サービスの拡充に努めた。

9．2 技術応用活動

実務家に向けた活動の活性化のため，本年度から技術応用運営委員会を設け，まずは実務家（産業界）への学会ビジビリティの向上を目指して次の施策を実施推進した。

(1) 「ソフトウェアジャパン2004」の開催

「ソフトウェアジャパン2004」（平成16年10月13日，明治大学アカデミーコモン）を企画開催し，産業界とのコラボレーションを推進するとともに，日本のソフトウェア強化のムーブメントの展開を図った。参加者364名の内，非会員225名，産業界の参加者は301名と，外部参加者を多く得られた。

(2) 「Webサービスカンファレンス」における学会紹介

IDGジャパン主催の「Webサービスカンファレンス」（平成16年8月31日～9月1日，品川コンファレンスセンター）に後援し，学会が派遣した講師による記念講演・パネル討論，ならびに展示ブースにおける学会紹介を行った。

(3) 日経ITプロフェッショナルのメルマガへの会誌記事の掲載

日経ITプロフェッショナルのメルマガに会誌記事をアレンジして掲載し，学会の知名度向上を図った。

9．3 運営の合理化等に関する事項

(1) 定款の改訂

理事会開催回数下限修正のほか，「公益法人の設立許可及び指導監督基準」に添うよう一部を改訂した。

(2) 選挙制度の検討

学会活動の多くを支えている調査研究分野（研究会）がより積極的に学会運営に参画することを目指した調査研究分野からの理事の選出提案について，選挙制度検討WG（責任者：松田副会長）を設けて検討を行い，制度の改定を行った。

(3) 個人情報保護法の全面施行への対応

平成17年4月1日からの個人情報保護法の全面施行に対応するため，プライバシーポリシーを改訂するとともに，関連するコンプライアンス・プログラムを整備した。

(4) 公益法人改革への対応

公益法人の指導監督基準、および公益法人会計基準の改正(平成16年10月14日)に対応するため、内部牽制体制の見直し充実を含め、会計規程を改訂整備するとともに、17年度以降の外部監査の導入に向けた諸準備を開始した。

(5) 電子化の推進

- ・学会情報システムの中期計画の評価と見直しを実施した。
- ・情報セキュリティに関する見解の発信および学会システムのセキュリティ維持確保を目的として、セキュリティ委員会を設立した。
- ・マネジメントシステムの機能強化とユーザビリティ改善を行った。
- ・査読支援システムの2次開発を推進した。
- ・研究報告、シンポジウム論文の電子投稿受付システムの仕様を検討した。引き続き仕様検討を行い、次年度に構築を予定する。
- ・英文ホームページの充実を図った。
- ・学会システム保守のアウトソーシング化によりセキュリティ強化に努めた。
- ・遠隔地会議システムを導入した。

9.4 支部活動

支部長会議を平成16年7月22日および平成17年1月27日に開催し、各支部の活動報告および本部・支部間の意見交換を行うとともに、学生会員の拡大に向けた協力を支部にお願いした。

(1) 北海道支部 (支部長: 大内 東)

支部総会 (平成16年4月20日, 於 北大, 出席者 109名 (委任状 92名を含む))

情報処理北海道シンポジウム 2004 (平成16年5月24日~25日, 於 北大, 参加者 180名)

北海道支部設立20周年記念シンポジウム (平成16年5月24日, 於 北大, 参加者 110名)

電気関係学会北海道支部連合大会 (平成16年10月18日~19日, 於 北海学園大, 一般講演 300件, 参加者 436名)

講演会 (8回)

幹事会 (2回), 評議員会 (2回), 支部奨励賞選定委員会 (1回)

北海道支部奨励賞, 北海道支部技術賞, 北海道支部長賞

(2) 東北支部 (支部長: 西関隆夫)

支部総会 (平成16年4月28日, 於 東北大, 出席者 156名 (委任状 138名を含む))

電気関係学会東北支部連合大会 (平成16年8月26日~27日, 於 東北工大, 一般講演 360件, 参加者 延 611名)

講演会 (7回), 研究会 (4回)

役員会 (1回), 幹事会 (1回)

支部奨励賞, 学生奨励賞表彰

(3) 東海支部 (支部長: 棚橋純一)

支部総会 (平成16年5月10日, 於 愛知厚生年金会館, 出席者 316名 (委任状 285名を含む))

電気関係学会東海支部連合大会 (平成16年9月27日~28日, 於 名工大, 一般講演 673件, オールセッション 510件ほか, 参加者 1,315名)

講演会 (7回), 研究会他 (12回), 講習会 (1回)

評議員会 (3回), 幹事会 (5回)

東海支部奨励賞, 学生論文奨励賞表彰

(4) 北陸支部（支部長：都司達夫）

支部総会（平成 16 年 5 月 14 日，於 福井大，出席者 114 名（委任状 95 名を含む））
電気関係学会北陸支部連合大会（平成 16 年 9 月 17 日～18 日，於 金沢大）
講演会（10 回），見学会（1 回），学生研究発表会
幹事会・評議員会（4 回）
北陸支部優秀学生表彰

(5) 関西支部（支部長：木戸出正継）

支部総会（平成 16 年 5 月 14 日，於 新阪急ビル，出席者 398 名（委任状 372 名を含む））
支部大会（3 研究会合同開催）（平成 16 年 10 月 25 日，於 阪大，参加者 162 名，論文発表 46 名）
環境知能研究会（2 回），ビジュアルインフォメーション研究会（3 回），VLSI 研究会研究会（3 回），
セミナー（2 回），小中学生向け見学会（1 回），講演会（1 回），シンポジウム支援（4 回）
評議員会・幹事会合同会議（1 回），幹事会（5 回）
学生奨励賞，特別奨励賞表彰

(6) 中国支部（支部長：渡邊敏正）

支部総会（平成 16 年 5 月 14 日，於 ホテルグランヴィア広島，出席者 156 名（委任状 127 名を含む））
中国支部創立 20 周年記念事業：特別講演会および式典（平成 16 年 5 月 14 日，於 ホテルグランヴィア
ア広島，参加者約 400 名）
電気・情報関連学会中国支部連合大会（平成 16 年 10 月 16 日，於 山口大）
講演会（15 回），講習会（2 回），見学会（1 回），研究会・シンポジウム（4 回）
評議員会（3 回），幹事会（3 回）
支部奨励賞，中国地区電気・情報関連学科優秀卒業生表彰

(7) 四国支部（支部長：古川善吾）

支部総会（平成 16 年 5 月 7 日，於 愛媛大，出席者 74 名（委任状 52 名を含む））
電気関係学会四国支部連合大会（平成 16 年 9 月 25 日，於 徳島大）
講演会等（9 回）
幹事会・評議員会（4 回）
四国支部奨励賞

(8) 九州支部（支部長：宇津宮孝一）

支部総会（平成 16 年 5 月 7 日，於 アイネス，出席者 219 名（委任状 204 名を含む））
電気関係学会九州支部連合大会（平成 16 年 9 月 27 日～28 日，於 鹿児島大，参加者 1,008 名）
火の国情報シンポジウム 2005（平成 17 年 3 月 7 日～8 日，於 九工大）
幹事会（3 回），評議員会（1 回）
若手の会セミナー（1 回），講演会等（8 回），特別講演会（1 回）
奨励賞表彰

9.5 表彰等 付録 5（p.35～p.37）参照

9.6 その他

事務局職員の年度末在籍者は 25 名（本部 17 名，規格 8 名）である。

以上

	<p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 技術応用活動に関する検討状況と今後の方針（技術応用運営委員会） 2. 創立45周年記念全国大会の開催（総務財務運営委員会） 3. IFIPへの関わり方についての検討およびIFIP日本代表交代（国際） <p>[各委員会からの報告（略）]</p>	<p>一部承認 承認可決 承認可決</p>
<p>第498回理事会 平成16年6月24日</p> <p>議長：益田隆司（会長） 出席：22名（内委任状3名）</p>	<p>[承認事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成16年6月17日現在の会員数状況（総務） 2. 平成16年4月 / 5月一般会計収支状況（財務） 3. 九州支部規約の改正（総務） 4. 共催等に関する規程の改訂（総務財務運営委員会） 5. 産業界向けイベントの企画開催等（技術応用運営委員会） 6. シンポジウム等の開催願い（調査研究 / 教育） 7. 講習会等に関する規程の改訂 / 講習会等業務委員会の廃止（事業） 8. 第66回全国大会大会優秀賞・大会奨励賞（事業） 9. 国内会議協賛・後援等依頼（事業） 10. 国際会議協賛・後援等依頼（国際） 11. 情報規格調査会規程および実施細則の変更（規格） <p>[審議事項] 該当無し [各委員会からの報告（略）]</p>	<p>承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認</p> <p>継続審議</p>
<p>第499回理事会 平成16年7月22日</p> <p>議長：益田隆司（会長） 出席：20名（内委任状2名）</p>	<p>[承認事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成16年7月17日現在の会員数状況（総務） 2. 平成16年6月一般会計収支状況（財務） 3. 平成17年度予算編成等の日程（財務） 4. 平成17年度役員・代表会員選挙手続き（総務） 5. 平成16年度フェロー選定手続き（総務） 6. 個人情報保護法に関する経済産業省のガイドラインへの対応（総務財務委員会） 7. 平成16年度山下記念研究賞受賞候補者について（調査研究） 8. シンポジウム等の開催願い（調査研究） 9. ICDCS2004国際会議終了報告（調査研究） 10. JABEE普及啓発シンポジウム開催について（教育） 11. 「高度IS指導者・高度IS人材育成支援組織」試行について（教育） 12. ハウジングサービスについて（電子化） 13. 国内会議協賛・後援等依頼（事業） 14. SAINT2004国際会議終了報告（国際） 15. 情報規格調査会委員の変更（規格） <p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 技術応用活動に関する財務基盤（総務財務委員会 / 技術応用委員会） 2. ソフトウェアジャパン2004の開催 付・議事録ほか（技術応用委員会） 3. 研究会の学会経営への参画について（萩谷理事） 4. 英文論文誌について（英文論文誌WG） <p>[各委員会からの報告（略）]</p>	<p>承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認</p> <p>承認可決 承認可決 検討開始 承認可決</p>
<p>第500回理事会 平成16年9月24日</p> <p>議長：益田隆司（会長） 出席：20名（内委任状3名）</p>	<p>[承認事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成16年9月17日現在の会員数状況（総務） 2. 平成16年7, 8月一般会計収支状況（財務） 3. 公認会計士への顧問業務委託（財務） 4. 研究会提案への対応：選挙制度検討WGの設置（総務） 5. 平成17年度理事会推薦代表会員候補者（1次案）（総務） 6. 平成16年度功績賞・顕功賞選定手続き（総務） 7. 平成16年度業績賞選定手続き（総務） 8. 平成16年度研究開発奨励賞選定手続き（総務） 9. 日本学会会議主催行事：共催願い（2件：メール承認済事項）（総務） 10. シンポジウム等の開催願い / 終了報告（調査研究） 11. 国際会議終了報告書：ASP-DAC 2004（調査研究） 12. 国内会議協賛・後援等依頼（事業） 13. 国際会議協賛・後援等依頼（国際） 14. SAINT2005国際会議開催申請書（国際） <p>[審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成17年度予算編成方針 付・内部留保の対応（財務） 2. 学会電子化に関する中期計画（電子化） <p>[各委員会からの報告（略）]</p>	<p>承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認</p> <p>承認可決 承認可決</p>

<p>第501回理事会 平成16年10月28日</p> <p>議長：益田隆司（会長） 出席：22名（内委任状2名）</p>	<p>[承認事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成16年10月21日現在の会員数状況（総務） 平成16年度9月一般会計収支状況 / 上期一般会計・支部会計収支状況（財務） 研究会の新設・継続について（調査研究） 研究会登録費の算定について（調査研究） シンポジウム等の開催願い / 終了報告（調査研究） 国内会議協賛・後援等依頼（事業） 国際会議協賛・後援等依頼（国際） 研究会主体の国際会議開催申請・終了報告の手続き（規程改訂案）（国際） 情報規格調査会委員の変更（規格） <p>[審議事項] 該当無し [各委員会からの報告（略）]</p>	<p>承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認</p>
<p>第502回理事会 平成16年11月30日</p> <p>議長：益田隆司（会長） 出席：18名（内委任状0名）</p>	<p>[承認事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成16年11月22日現在の会員数状況（総務） 平成16年度10月一般会計収支状況（財務） 平成17年度役員候補者について（総務） 平成17年度事業方針・事業計画（総務） 名誉会員の推薦について（総務） IPJSJ Webサイトへの人材募集掲載について（会誌） 英文ホームページの更新について（会誌） 著作権規程改訂および内部手続きについて（著作権委員会） 今後の英文図書出版委員会について（出版委員会） 平成17年度研究会登録費の改定について（調査研究） 平成17年度トランザクション別刷代および購読料の改定について（調査研究） シンポジウム等の開催願い / 終了報告（調査研究） 国内会議協賛・後援等依頼（事業） 国際会議協賛・後援等依頼（国際） 国際関係の規程改訂（国際業務委員会規程、細則、国際会議開催規程）（国際） 情報規格調査会委員の変更（規格） <p>[審議事項] 1. 「情報処理ハンドブック」の改定について（総務財務運営委員会）</p> <p>[各委員会からの報告（略）]</p>	<p>承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認</p> <p>承認可決</p>
<p>第503回理事会 平成16年12月21日</p> <p>議長：益田隆司（会長） 出席：21名（内委任状1名）</p>	<p>[承認事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成16年12月14日現在の会員数状況（総務） 平成16年度11月一般会計収支状況（財務） 平成17年度理事会推薦役員候補者（立候補承諾状況）（総務） 平成17年度理事会推薦代表会員候補者（立候補承諾状況）（総務） 平成16年度フェロー選定について（フェロー選定委員会） 学会創立45周年記念DVDの発行について（出版委員会） シンポジウム等の開催願い / 終了報告（調査研究） 国内会議協賛・後援等依頼（事業） FIT2005第4回情報科学技術フォーラム予算（事業） 創立45周年記念「日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム」スポンサー等募集 エンタティメントコンピューティング国際会議開催申請書（国際） 情報規格調査会委員の変更（規格） <p>[審議事項] 1. 学生会員増強のための研究会登録費の無料化（総務財務運営委員会） 2. 理事会開催回数に関わる定款改訂（総務）</p> <p>[各委員会からの報告（略）]</p>	<p>承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認</p> <p>価格以外承認 承認 承認 承認 承認 承認</p> <p>承認可決 承認可決</p>
<p>第504回理事会 平成17年1月27日</p> <p>議長：益田隆司（会長） 出席：22名（内委任状2名）</p>	<p>[承認事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成17年1月20日現在の会員数状況（総務） 平成16年度12月一般会計収支状況（財務） 定款の変更（総務） 名誉会員の推薦（総務） 平成16年度学会活動貢献賞の選定（総務財務運営委員会） 新設基金（4件）の規程制定（総務・財務） 平成17年度支部交付金（総務・財務） 学会創立45周年記念DVDの発行：販売予測（出版委員会） シンポジウム等の開催願い / 終了報告（調査研究） 英文論文合同アーカイブズ（論文誌） 平成16年度教育賞の選定（教育） 	<p>承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認</p> <p>一部修正承認 承認 承認 承認</p>

各種委員会

委員長・主査、副委員長・財務委員、幹事・副査、担当理事（担務）、*オブザーバ、アドバイザ委員

1. 総務

1.1 総務財務運営委員会

/ 松田晃一、 笥 捷彦、 菊池純男、 小橋喜嗣、 丸山文宏、*/ 益田隆司

開催年月日	主な議事事項	会議結果
第17回 平成16年5月19日	1. 学会運営に関する課題の対応状況 2. 45周年記念全国大会 3. 文部科学省実地検査結果の改善対応状況 4. 平成16年度役員担当業務 5. 日本学術会議会員の推薦制度の変更 6. 国際会議の監査	確認 理事会を通じて各理事に検討を依頼 承認 理事会へ提案 確認 理事会へ報告 承認 会長確認後、理事会へ提案 確認 理事会へ報告 国際担当理事へ対応依頼
第18回 平成16年6月17日	1. 共催等の規程改訂 2. 「総合デジタルライブラリ（仮称）」	承認 理事会へ提案 電子化委員会へ検討依頼
第19回 平成16年7月15日	1. 平成17年度役員・代表会員選挙手続き 2. 技術応用活動の財務基盤 3. 個人情報保護法への対応	確認 理事会へ提案 承認 理事会へ提案 承認 著作権委員会での検討を理事会に提案
第20回 平成16年8月27日	1. 平成17年度予算編成方針および内部留保の対応 2. 研究会の学会運営企画提案への対応 3. 学会間の相互協力に関する覚書（最終案）	承認 理事会へ提案 承認 検討WGの設置を理事会へ提案 確認 理事会へ報告
第21回 平成16年10月20日	1. 新設基金規程 2. 学生会員増強に関する検討状況	承認 理事会へ提案 確認 理事会へ報告
第22回 平成16年11月24日	1. 中長期的な財務予想への対応 2. 機関誌発送方法の変更 3. 「情報処理ハンドブック」の改定 4. 17年度役員候補者選考投票結果	確認 継続検討 承認 理事会へ提案 承認 理事会へ提案 確認 理事会へ報告
第23回 平成16年12月16日	1. 学生会員増強の一施策：研究会登録費の無料化 2. 定款改訂：理事会開催回数の変更 3. 学術会議会員候補者の情報提供 4. 17年度役員・代表会員候補者立候補承諾状況	承認 理事会へ提案 承認 理事会へ提案 承認 会長確認後、理事会へ報告 確認 理事会へ報告
第24回 平成17年1月19日	1. 会計士および税理士からの指導 2. 決済性預金への一部移行、退職給与引当預金の別通帳への移行 3. 定款改訂：文部科学省からの指摘による追加事項 4. 名誉会員の決定方法	確認 承認 理事会へ提案 承認 理事会へ提案 承認 理事会へ提案
第25回 平成17年2月22日	1. 第48回通常総会次第 2. 平成17年度事業計画および予算取纏め状況（2月現在） 3. 外部監査の導入：文部科学省からの通知	承認 理事会へ提案 確認 理事会へ報告 承認 理事会へ提案
第26回 平成17年3月16日	1. 定款変更内諾通知 2. 平成17年度役員・代表会員選挙集計結果 3. 会計規程改訂案 4. 平成17年度事業計画および予算 6. 平成16年度事業報告および決算見込み取纏め状況（3月現在）	確認 理事会へ報告 確認 会長確認後、理事会へ報告 承認 理事会へ提案 承認 理事会へ提案 確認 理事会へ報告

1.2 支部長会議

/ 益田隆司、 松田晃一、 白鳥則郎、 笥 捷彦、 小橋喜嗣、 菊池純男、 丸山文宏、各支部長：大内 東（北海道）、西関隆夫（東北）、棚橋純一（東海）、都司達夫（北陸）、木戸出正継（関西）、渡邊敏正（中国）、古川善吾（四国）、宇津宮孝一（九州）

開催年月日	主な議事事項	会議結果
平成16年度第1回 平成16年7月22日	1. 本部-支部の意見交換 2. 個人情報の取扱い / 会計処理に関する注意事項	意見交換 支部長を通じて各支部に依頼
平成16年度第2回 平成17年1月27日	1. 平成17年度支部交付金 2. 学生会員増強に関する検討状況 3. 個人情報保護法対応 / 共催会議の著作権 / 会計士指導の経理処理	確認 理事会へ提案 報告 支部長を通じて各支部に周知

1.2 学生会員増強TF

1.2項の支部長会議メンバーの他、調査研究運営委員長：萩谷昌己、各領域委員長：竹林洋一、富田悦次、平田圭二

平成16年7月22日における学生会員増強に関する意見交換の後、実質的な検討は、会長と総務財務運営委員会に移行。

1.3 選挙制度検討WG

/ 松田晃一、白鳥則郎、笥捷彦、小橋喜嗣、監事：吉澤康文、阪田史郎、*調査研究運営委員長：萩谷昌己、*各領域委員長：竹林洋一、富田悦次、平田圭二

[平成16年10月20日、11月24日、平成17年1月19日、2月1日、3月10日]

委員長と理事の役割 / 研究会組織からの理事推薦の可否 / 制度変更 理事会へ制度改定を提案

1.4 電子化委員会

/ 増井俊之、 / 下間芳樹、植村俊亮、笥捷彦、菊池純男、下條真司、田中穂積、萩谷昌己、湯淺太一

開催年月日	主な議事事項	会議結果
第10回 平成16年7月5日	1.ハウジングサービス 2.セキュリティ委員会主催ワークショップ開催結果報告 3.コンピュータ博物館英文化費用	承認 理事会へ提案 確認 理事会へ報告 承認 理事会へ報告
第11回 平成16年8月24日	1. IPSJ情報システム中長期プラン 2. 16年度事業の進捗状況	承認 総務財務委員会、理事会へ提案 確認
第12回 平成16年10月21日	1. 査読支援システム / 研究報告等の電子投稿受付システム 2. 総合デジタルライブラリ会員制度 / 遠隔地会議システム	引続き検討 引続き検討
第13回 平成16年12月15日	1. 査読支援システム / 研究報告等の電子投稿受付システム 2. 個人情報保護法対策 3. 「総合デジタルライブラリ(仮称)」 4. 遠隔地会議システム導入 / 学会マネジメントシステムの最小限改修	承認 理事会へ報告 セキュリティ委員会に検討依頼 引続き検討 承認

1.4.1 セキュリティ委員会

村山優子、大谷和子、岡本栄司、菊池浩明、佐々木良一、下間芳樹、寺田真敏、鳥居 悟、増井俊之、丸山 宏、宮部博史

開催年月日	主な議事事項	会議結果
平成16年6月3日	1. Winnyを契機に情報処理技術の発展と社会的利益について考えるワークショップ	承認 電子化委員会、理事会へ提案
平成16年1月18日	1. プライバシーポリシー改訂案	承認 理事会へ提案
平成16年2月10日	1. 個人情報保護に関するコンプライアンスプログラム	承認 理事会へ提案

2. 調査研究活動

2.1 調査研究運営委員会

/ 萩谷昌己、久世和資、竹林洋一、鯉坂恒夫、石畑 清、今井 浩、尾家祐二、富田悦次、橋田浩一、平田圭二

開催年月日	主な議事事項	会議結果
第34回 平成16年5月31日	1. 平成17年度調査研究活動への学会補助額 / 共通費賦課 2. 平成17年度シンポジウム事務諸費 3. 新規分野取り込み、新しい施策と積立金の有効利用 4. BookPark	承認、領域分は各領域で引続き検討 承認 引続き検討 引続き検討
第35回 平成16年10月15日	1. 平成17年度研究会登録費算定 2. 平成17年度トランザクション予算 / シンポジウム事務諸費 3. FIT International 4. 情報処理ハンドブック改定 / 研究会の学会経営参画 / 新規分野開拓 5. 研究会主体国際会議の開催申請・終了報告の手続き	承認 理事会提案 承認 現状を確認 引続き検討 手続きの変更案を国際業務委員会に提案
第36回 平成16年12月20日	1. 調査研究運営委員長および領域委員長の選出 2. 学生会員増強対策 3. 研究発表会支援システム 4. 福祉社会システム実務研究グループ新設	引続き検討 承認 各研究会へ実施を報告 引続き検討 引続き検討

2.2 コンピュータサイエンス領域委員会(山下記念研究賞選定委員会を兼ねる)

富田悦次、今井 浩、萩谷昌己、青山幹雄、天野英晴、石川 博、加藤和彦、神戸尚志、城 和貴、関口智嗣、平田富夫、八杉昌宏

開催年月日	主な議事事項	会議結果
第31回 平成16年7月9日	領域共通-1. 平成16年度山下記念研究賞受賞候補者 領域共通-2. 平成17年度学会補助額 / 共通費賦課 / シンポ事務諸費 領域共通-3. 新規分野取り込み、新しい施策と積立金の有効利用 領域共通-4. BookPark	受賞者を選定 理事会承認へ 引続き検討 引続き検討 各研究会よりアドバイザーを選出
第32回 平成16年9月16日	領域共通-1. 研究会の新設・継続 領域共通-2. 平成17年度研究会登録費算定 領域共通-3. 平成17年度トランザクション予算 / シンポ事務諸費 領域共通-4. 研究発表会支援システム 領域共通-5. FIT International / 情報処理ハンドブック / 学生会員増強 領域共通-6. 研究会の学会経営への参画	承認 理事会提案 承認 調査研究運営委員会へ 承認 調査研究運営委員会へ 確認 引続き検討 引続き検討

	領域共通-7. 新規分野開拓	全国大会でのパネル開催を承認
第33回 平成17年2月10日	領域共通-1. ワークショップ・小規模国際会議廃止 領域共通-2. 山下記念研究賞の財源	承認 理事会承認へ 引続き検討

2.3 情報環境領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

/ 竹林洋一、尾家祐二、市川照久、大野邦夫、小花貞夫、斎藤隆文、砂原秀樹、高橋 修、徳田英幸、仲尾由雄、東野輝夫、福田晃、星 徹、増井俊之、松浦敏雄、村山優子、渡辺 裕

[第30回：平成16年6月25日、第31回：9月13日、第32回：平成17年2月10日]

いずれもコンピュータサイエンス領域委員会の領域共通事項に同じ。

2.4 フロンティア領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

平田圭二、橋田浩一、久世和資、桶谷猪久夫、片寄晴弘、川合 慧、岸上順一、島津 明、中村 哲、松原 仁、山田誠二、横矢直和

[第30回：平成16年7月14日、第31回：9月29日、第32回：平成17年2月1日]

いずれもコンピュータサイエンス領域委員会の領域共通事項に同じ。

2.5 調査研究運営・領域合同委員会

調査研究運営委員会および各領域委員会メンバー

[第4回：平成17年3月3日] ハンドブック/調査研究推薦の理事候補者と今後の調査研究の運営方法/研究グループに関する検討。

2.6 トランザクション編集会議

()萩谷昌己、八杉昌宏、城 和貴、石川 博、大山敬三、吉川正俊、仲尾由雄、横矢直和、中島 浩、天野英晴、関口智嗣、加藤和彦、伊藤 和人、増井俊之、岡田 稔、阿部昭博、今泉貴史、東 幸宏、鯉坂恒夫、青山幹雄、()竹林洋一、平田圭二

[第6回：平成16年9月22日] トランザクションの編集実施に関する検討

3. 教育活動

3.1 情報処理教育委員会（研究賞選定委員会を兼ねる）

() 寛 捷彦、角田博保、角 行之、佐々木良一、本位田真一、石田喬也、市川照久、井上克郎、牛島和夫、大岩 元、神沼靖子、河合和久、川合 慧、河原達也、河村一樹、木村 泉、黒川恒雄、柴山 潔、管村 昇、曾和将容、武井恵雄、竹井大輔、寺田浩詔、富樫 教、都倉信樹、中川正樹、中島義司、中田育男、中森真理雄、疋田輝雄、一松 信、堀内征治、望月徹英、山本昌弘、弓場敏嗣、米崎直樹

開催年月日	議事事項	会議結果
平成16年8月6日	1. 各小委員会の報告 / PDE協議会事業推進委員会報告 2. 教育活動の財政基盤	確認 引続き検討
平成16年10月19日	1. 各小委員会の報告 / 共催シンポジウム終了報告 2. 教育活動の財政基盤 (WG報告)	確認 理事会に報告 確認 理事会に報告
平成16年12月10日	1. 平成16年度事業報告 / 平成17年度事業計画 2. 電気電子・情報系CPD協議会	確認 確認
平成17年1月	1. 優秀教育賞・教材賞該当者選定 (メール審議)	優秀教育賞該当者1名を選定 理事会提案
平成17年2月14日	1. 短大・高専教育小委員会 / 資格制度委員会の活動 2. 生涯教育委員会 / 情報システム教育委員会の活動 3. 初等中等教育の情報教育 4. 情報処理教育のページの会誌への掲載	引続き検討 承認 理事会に報告 引続き検討 引続き検討

3.2 生涯教育委員会

石田喬也、角 行之、秋山義博、石田厚子、岩丸良明、大岩 元、大野とし郎、神沼靖子、楠元範明、黒川恒雄、黒澤兵夫、児玉公信、佐谷鉄夫、田口 潤、田原幸朗、角田千晴、手島歩三、中谷多哉子、野中 誠、深澤良彰、松本吉弘、村上敬亮

開催年月日	議事事項	会議結果
平成16年4月9日	1. PE免許制度	確認
平成16年6月22日	1. WG-3報告「C10」	情報処理教育委員会経由 理事会へ提案
平成16年9月14日	1. WG-1報告「ISユーザの資質」 / WG-3報告「人材育成支援組織」 2. 社会人向け情報分野講座 3. JISA/JUASとの連携	確認 情報処理教育委員会へ報告 確認 情報処理教育委員会へ報告 引続き検討
平成16年12月10日	1. WG-3報告「人材育成支援組織」	確認
平成17年2月14日	1. WG-3報告「人材育成支援組織」 2. 今後の生涯教育委員会のあり方	確認 情報処理教育委員会へ報告 確認 情報処理教育委員会へ報告

3.3 情報システム教育小委員会

神沼靖子、内木哲也、宮川裕之、大岩 元、小泉寿男、竹並輝之、寺田浩詔、都倉信樹、山本昌弘、弓場敏嗣、渡邊慶和

開催年月日	議事事項	会議結果
-------	------	------

平成16年10月29日	1. 平成17年度計画	承認 情報処理教育委員会へ報告
平成16年12月26日	1. 新「情報システム教育」委員会 2. 情報システム教科書シリーズの出版計画	承認 情報処理教育委員会へ報告 引続き検討
平成16年11月26日	1. IT分野のJABEE報告 2. IS分野としての情報関連分野のキーワード案 3. ISWGと情報システム教育小委員会の統合	確認 確認 承認 情報処理教育委員会へ提案

4. 事業活動

4.1 第67回全国大会プログラム委員会

竹内郁雄、湯浅太一、山田敬嗣、田中穂積、渡辺 創、上野浩一郎、森岡澄夫、望月久稔、安藤利光、櫻田英樹、平原正樹、廣安知之、清水尚彦、森 辰則、加納 健、岩崎英哉

[平成16年5月18日、7月8日、9月13日、12月6日] 第67回大会の実施運営に関わる検討実施およびプログラム編成。

4.2 第68回全国大会組織委員会(兼)学会創立45周年記念イベント企画委員会

/ 白鳥則郎、/ 山田敬嗣、小橋喜嗣、丸山文宏、土井美和子、西田豊明、竹林洋一、久世和資、下間芳樹、松本裕治、本位田真一

[平成16年6月24日、9月24日、10月28日、11月30日、12月21日、平成17年1月12日、3月8日]

第68回全国大会および記念イベントの実施運営に関わる検討実施。

4.3 事業推進委員会

/ 湯浅太一、/ 山田敬嗣、箕 捷彦、小橋喜嗣、菊池純男、丸山文宏、田中穂積、萩谷昌己

開催年月日	議事事項	会議結果
平成16年11月2日	1. 次年度の連続セミナー企画の検討 2. 67回、68回全国大会進捗状況 / FIT2004開催報告 / FIT2005進捗状況	引続き検討 確認

4.4 FIT推進委員会

白井良明、/ 白鳥則郎、湯浅太一、山田敬嗣、萩谷昌己、久世和資、上倉一人、西脇大輔、荒井秀一、植芝俊夫、前田太郎、大田友一、清水康、西田豊明

[平成16年6月9日、11月15日、平成17年1月27日] FITの運営推進に関わる検討実施。

4.7 技術応用運営委員会

徳田英幸、青山幹雄、竹林洋一、上原三八、丸山 宏

開催年月日	議事事項	会議結果
平成16年4月6日	1. 委員会の今後の活動	引続き検討
平成16年4月27日	1. 具体的な活動の方向性	承認
平成16年5月14日	1. 産業界向けイベントの企画開催 (SJ2004 / IDGとの連携)	検討 理事会へ提案
平成16年6月16日	2. 産業界向け雑誌への寄稿	検討 理事会へ提案
平成16年7月13日	3. 連携先の選定ガイドライン	検討 理事会へ提案
平成16年11月25日	1. SJ2004終了報告と反省	確認 理事会へ報告
平成17年1月18日	1. 次年度以降の委員会体制 / SJ2005 / 17年度事業計画	承認 理事会へ報告

4.8 プログラミング・シンポジウム幹事会

石畑清、藤波順久、斎藤隆文、粕川正充、鈴木貢、高岡詠子、田中哲朗、湯浅太一

[平成16年7月5日、10月22日、12月10日、平成17年2月9日] 夏のプロシン / 若手の会 / プロシンに関する検討実施。

5. 歴史調査活動

5.1 歴史特別委員会

高橋 茂、松永俊雄、旭 寛治、鶴飼直哉、浦城恒雄、笈田 弘、淵 一博、前島正裕、山田昭彦、和田英一、*宇田 理、*宮城嘉男

開催年月日	議事事項	会議結果
平成16年5月24日	1. コンピュータパイオニアの収集状況	確認 理事会へ報告
平成16年6月14日	1. 卓越技術データベース委員会状況報告 2. 今年度のデータベース作成作業の進め方	確認 理事会へ報告 確認 理事会へ報告
平成16年7月27日	3. 「コンピュータの歴史・解説・論文・資料」のトップページ 4. オーラルヒストリ今後の計画 5. コンピュータ博物館実行小委員会状況報告	確認 理事会へ報告 確認 理事会へ報告 確認 理事会へ報告
平成16年9月24日	1. コンピュータ博物館実行小委員会状況報告 2. 歴史的コンピュータ所在一覧	確認 理事会へ報告 引続き検討

平成16年11月19日	1. コンピュータ博物館実行小委員会状況報告 2. 平成17年度事業計画(案) 3. 電気電子・情報関連技術史委員会	確認 理事会へ報告 確認 理事会へ報告 否認 理事会へ報告
平成17年3月2日	1. コンピュータ博物館実行小委員会状況報告 2. コンピュータ博物館資料室の拡充案 3. 45周年記念イベント併設展示へのFUJIC出典打診 4. 「日本のコンピュータの歴史」単行本化	確認 理事会へ報告 引き続き検討 却下 WGへ報告 引き続き検討

5.2 コンピュータ博物館実行小委員会

旭 寛治、安保 進、宇田 理、小松秀二、芝田 晃、調 重俊、永田宇征、村野初男、森末秀雄、山田昭彦、*村岡洋一、*金田康正、*小林幹夫

[第27回～第32回：平成16年4月23日、6月21日、7月26日、9月1日、12月17日、平成17年2月18日] コンピュータ博物館への掲載内容と改定 / データ収集 / ソフトウェア展示方法 / 転載許諾 / 英語版の充実 / 著作権処理等の検討運営。 他に、米国技術系博物館調査報告 / 科学研究費補助金決定報告 / 他学会への協力等。

6. 機関誌 / 出版活動

6.1 会誌編集委員会

和田英一、田中穂積、土井美和子、天野真家、大川茂樹、片山 博、菊田泰代、木村啓二、坂井修一、永井明人、前田敦司、増井俊之、水田秀行、三宅英太、村瀬一郎、森岡澄夫、安信千津子、山崎憲一

[第74～84回：平成16年4月13日、5月11日、6月8日、7月12日、9月14日、10月12日、11月8日、12月7日、平成17年1月14日、2月8日、3月8日] 全回共通：会誌の編集に関する検討実施。 その他、日経BP社の雑誌における掲載 / 45周年記念論文推薦 / 46巻表紙デザイン / 英文ホームページの更新

6.2 論文誌編集委員会(幹事会)(論文賞選定委員会を兼ねる)

植村俊亮、西田豊明、中渡瀬秀一、黒橋禎夫、加納 健、安本慶一、樋地正浩、宮田高志、寺田松昭、寺田真敏、松浦幹太、鯉坂恒夫、青山幹雄、竹林洋一、平田圭二

[第294～304回：平成16年4月5日、5月11日、6月8日、7月1日、9月3日、10月4日、11月1日、12月1日、平成17年1月7日、2月1日、3月1日] 全回共通：論文誌の編集に関する検討実施。 その他、英文論文誌の発行 / オンライン投稿システムの検討 / 論文審査期間の検討 / 英文論文合同アーカイブの検討 / 投稿料と掲載料の検討 / 推薦論文制度の改訂 / 執筆案内の変更等。

6.3 出版委員会

/ 田中穂積、 / 土井美和子

平成16年9月	1. 国際会議論文集の発行におけるISBN 番号使用	承認 理事会へ報告
平成16年11月	1. 論文集のISBN 番号付与 2. 「情報処理ハンドブック」の改定	承認 理事会へ報告 承認 理事会へ提案
平成16年12月～1月	1. 学会創立45周年記念DVD の発行	検討 理事会へ提案

6.3.1 英文図書出版委員会

近山 隆、江崎 浩、井上智雄、奥乃 博、河原達也、喜連川優、滝沢 誠、藤田友之

[第45回～第47回：平成16年6月7日、9月22日、12月16日] 英文図書の発行に関する検討実施。

6.3.2 教科書委員会

松下 温、阪田史郎、伊藤 潔、井戸上彰、今城哲二、大河内正明、駒谷昇一、坂下善彦、曾根原登、西田豊明、本位田真一

[平成16年4月22日、9月2日、平成17年1月19日] 教科書シリーズの発行に関する検討実施。
--

6.4 著作権委員会

/ 田中穂積、 / 土井美和子、天野真家、植村俊亮、江原暉将、大谷和子、萩谷昌己、増井俊之、丸山 宏、米田英一、*中島 浩

平成16年8月31日	1. 掲載論文英文アブストラクト転載 2. 個人情報保護法への対応	承認 理事会へ報告 検討 セキュリティ委員会へ引継ぎ
平成16年11月	1. 著作権規定改定および内部手続き	承認 理事会へ提案
平成17年1月	1. 共催会議の著作権に関する覚書	承認 理事会へ提案
平成17年2月	2. 岩手県立大学への包括的利用許諾 3. 学術著作権協会からの依頼	承認 理事会へ報告 承認 理事会へ報告

7. 標準化活動

7.1 規格役員会

石崎 俊、大蒔和仁、丸山文宏、佐藤哲司、高田秀之、成田博和、原田節雄、平野芳行、村田 裕、村谷公俊、山本 泰

開催年月日	議事事項	会議結果
定例の主な議題	規格賛助員の入退会等、委員会関連変更、国際会議派遣・招致、月次決算	以下、定例議題以外を掲載
平成16年4月9日	1. 平成15年度規格会計決算 / 規格関連表彰の受賞候補者 2. 平成15年度活動報告書および平成16年度活動の重点項目	承認 継続審議
平成16年5月14日	1. 規格総会の日に開催する標準化フォーラムのテーマ 2. 情報規格調査会の身分での外部委員会への参加 3. 2004-03に開催された臨時規格総会の議事録	承認 役員会に報告 一部変更
平成16年6月11日	1. 標準化セッション 2. 理事会への四半期活動報告書 3. トレンドマイクロの新サポートプランの契約	SC24とSC25が参加 メールで継続審議 承認
平成16年7月9日	1. 個人情報の保護 2. 奈良コンベンションビューロの視察	学会本部の対応に準ずる 希望職員を派遣
平成16年9月10日	1. 理事会への四半期活動報告書 2. 内部留保	年度規格活動を追加 継続審議
平成16年10月15日	1. 規格賛助員への資料配布の電子化 2. JTC1ベルリン総会への対応	継続審議 理事がEditing Groupに参加
平成16年11月12日	1. 基金用の銀行口座 2. 新たな基金の設定 3. 表彰関連	独立口座の設置 2基金の設置を承認 賞金額の設定
平成16年12月10日	1. 理事会への四半期活動報告書 2. JBCC社およびリンク社との契約改定 / SC23の議長交代	継続審議 承認
平成17年1月14日	1. Accessibility SWGへの国内対応委員会 2. 新設基金に関する規程	理事の主査就任を打診 承認
平成17年2月18日	1. 国際会議派遣費の支給方式の変更 2. 来年度のシステム関連の支援費	承認 システム担当理事に一任
平成17年3月11日	1. 運営委員会におけるトピック 2. 平成16年度決算見込と平成17年度予算 3. 事務局備品の一部入れ替えとレイアウト変更	文字情報データベースの紹介 予算承認 承認

7.2 技術委員会

石崎 俊、大蒔和仁、丸山文宏、佐藤哲司、高田秀之、成田博和、原田節雄、平野芳行、村田 裕、村谷公俊、山本 泰、他52名

平成16年4月16日	投票案件：25件 / コメント案件：7件 / 国際会議報告：1件 / 他
平成16年5月21日	投票案件：29件 / コメント案件：4件 / 国際会議報告：0件 / 他
平成16年6月18日	投票案件：53件 / コメント案件：4件 / 国際会議報告：4件 / 他
平成16年7月30日	投票案件：16件 / コメント案件：2件 / 国際会議報告：8件 / 他
平成16年9月3日	投票案件：32件 / コメント案件：10件 / 国際会議報告：2件 / 他
平成16年10月8日	投票案件：27件 / コメント案件：3件 / 国際会議報告：1件 / 他
平成16年11月19日	投票案件：25件 / コメント案件：2件 / 国際会議報告：3件 / 他
平成16年12月17日	投票案件：18件 / コメント案件：3件 / 国際会議報告：3件 / 他
平成17年1月21日	投票案件：34件 / コメント案件：1件 / 国際会議報告：0件 / 他
平成17年2月25日	投票案件：34件 / コメント案件：17件 / 国際会議報告：1件 / 他
平成17年3月18日	投票案件：37件 / コメント案件：0件 / 国際会議報告：2件 / 他

8. 国際活動

8.1 IFIP委員会

()白鳥則郎、渡辺 尚、 / 下條真司、 / 松本裕治、伊藤貴康、箕 捷彦、大岩 元、木村文彦、斎藤忠夫、亀田壽夫、内木哲也、松本恒雄、南谷 崇、佐々木良一、堂下修司、黒須正明、中津良平、田島讓二、笈田 弘

平成16年4月16日	1. IFIPとIPSJの関係の現状認識と今後の改善	確認
平成16年10月14日	1. IFIP GA2004報告 / 各TC, SG, IAPR年間活動報告 2. 元IFIP会長(センドフ氏)の名誉会員推薦 3. IFIPへの関わり方	確認 理事会へ報告 承認 引続き検討

付2．研究会および研究発表・学術講習会等一覧

[研究会等の詳細]

研究会等の名称 (() 内：英略称、*：研究グループ)	主査名 (運営委員数)	登録者数
[コンピュータサイエンス領域]		
データベースシステム (DBS)	石川 博 (35)	549
ソフトウェア工学 (SE)	青山幹雄 (44)	578
計算機アーキテクチャ (ARC)	天野英晴 (37)	401
システムソフトウェアとオペレーティング・システム (OS)	加藤和彦 (34)	357
システムLSI設計技術 (SLDM)	神戸尚志 (39)	349
ハイパフォーマンスコンピューティング (HPC)	関口智嗣 (33)	481
プログラミング (PRO)	八杉昌宏 (21)	427
アルゴリズム (AL)	平田富夫 (31)	328
数理モデル化と問題解決 (MPS)	城 和貴 (31)	357
[情報環境領域]		
マルチメディア通信と分散処理 (DPS)	東野輝夫 (46)	493
ヒューマンインタフェース (HI)	増井俊之 (41)	528
グラフィクスとCAD (CG)	斎藤隆文 (25)	378
情報システムと社会環境 (IS)	市川照久 (21)	312
情報学基礎 (FI)	仲尾由雄 (21)	281
オーディオビジュアル複合情報処理 (AVM)	渡辺 裕 (18)	218
グループウェアとネットワークサービス (GN)	星 徹 (41)	344
分散システム/インターネット運用技術 (DSM)	松浦敏雄 (36)	398
デジタル・ドキュメント (DD)	大野邦夫 (16)	249
モバイルコンピューティングとユビキタス通信 (MBL)	高橋 修 (45)	440
コンピュータセキュリティ (CSEC)	村山優子 (37)	452
高度交通システム (ITS)	小花貞夫 (21)	266
高品質インターネット (QAI)	砂原秀樹 (19)	165
システム評価 (EVA)	福田 晃 (18)	166
ユビキタスコンピューティング (UBI)	徳田英幸 (26)	286
*放送コンピューティング (BCC)	水野忠則 (---)	---
[フロントティア領域]		
自然言語処理 (NL)	島津 明 (29)	586
知能と複雑系 (ICS)	山田誠二 (22)	441
コンピュータビジョンとイメージメディア (CVIM)	横矢直和 (52)	614
コンピュータと教育 (CE)	川合 慧 (39)	554
人文科学とコンピュータ (CH)	桶谷猪久夫 (23)	330
音楽情報科学 (MUS)	片寄晴弘 (24)	390
音声言語情報処理 (SLP)	中村 哲 (27)	333
電子化知的財産・社会基盤 (EIP)	岸上順一 (21)	222
ゲーム情報学 (GI)	松原 仁 (21)	267

1．研究発表会 (調査研究活動分)

1.1 コンピュータサイエンス領域

1.1.1 データベースシステム研究発表会

回次	開催年月	場所	発表件数	参加者数	共催団体
第133回	平成16年5月13日～14日	神奈川近代文学館ホール	15	82	
第134回	平成16年7月13日～15日	ホテル奥道後	96	109	電子情報通信学会
第135回	平成17年1月20日～21日	ホテル遠鉄エンパイア	17	28	

1.1.2 ソフトウェア工学研究発表会

第145回	平成16年8月19日～20日	秋田大学	16	26	
-------	----------------	------	----	----	--

第146回	平成16年11月26日	東洋大学	12	47	
第147回	平成17年3月17日～18日	東洋大学	17	60	

1.1.3 計算機アーキテクチャ研究発表会

第150回	平成16年5月14日	産業技術総合研究所	9	65	
第151回	平成16年7月30日～31日	青森市文化会館	30	133	
第152回	平成16年12月1日～2日	北九州国際会議場	19	54	電子情報通信学会
第153回	平成17年1月21日	那覇市 共済会館八汐荘	11	20	
第154回	平成17年3月7日～9日	北海道大学	35	75	

1.1.4 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会

第96回	平成16年6月17日～18日	残波岬口イザルホテル	21	42	
第97回	平成16年8月1日	青森市文化会館	14	64	
第98回	平成17年2月22日～23日	香川大学	15	46	

1.1.5 システムLSI設計技術研究発表会

第115回	平成16年5月27日～28日	松下電器	11	23	電子情報通信学会
第116回	平成16年10月21日～22日	伝国の杜	27	15	電子情報通信学会
第117回	平成16年12月1日～2日	北九州国際会議場	48	45	電子情報通信学会
第118回	平成17年1月25日～26日	慶應義塾大学	27	39	電子情報通信学会
第119回	平成17年3月17日～18日	倉敷芸術大学	28	31	電子情報通信学会

1.1.6 ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会

第98回	平成16年4月13日	宇宙航空研究開発機構	8	38	
第99回	平成16年7月30日～8月1日	青森市文化会館	47	160	
第100回	平成16年12月17日	ホテル東京KKR竹橋	8	52	
第101回	平成17年3月7日～9日	北海道大学	35	115	

1.1.7 プログラミング研究発表会

第49回	平成16年5月18日～19日	化学会館	8	28	
第50回	平成16年7月30日～31日	青森市文化会館	12	19	
第51回	平成16年10月21日～22日	東京大学	10	37	
第52回	平成17年1月20日～21日	NTT	13	28	
第53回	平成17年3月17日～18日	東京工業大学	15	48	

1.1.8 アルゴリズム研究発表会

第95回	平成16年5月21日	九州大学	9	28	
第96回	平成16年7月27日	京都大学	8	25	
第97回	平成16年10月14日～15日	東北大学	17	24	電子情報通信学会
第98回	平成16年11月5日	愛知県立大学	7	13	
第99回	平成17年1月20日	東京大学	10	40	
第100回	平成17年3月17日	東芝科学館	12	37	

1.1.9 数理モデル化と問題解決研究発表会

第49回	平成16年5月7日	奈良女子大学	10	16	
第50回	平成16年6月22日	モンテカルロリゾート	11	15	
第51回	平成16年9月13日	琉球大学	10	23	
第52回	平成16年12月20日～21日	電気通信大学	23	51	
第53回	平成17年3月9日～10日	南紀白浜ホテル古賀の伊	15	27	

1.2 情報環境領域

1.2.1 マルチメディア通信と分散処理研究発表会

第118回	平成16年6月3日～4日	山梨大学	15	23	
-------	--------------	------	----	----	--

第119回	平成16年9月23日	北海道大学	16	29	
第120回	平成16年11月4日～5日	福岡工業大学	19	28	
第121回	平成17年1月19日～20日	産業技術総合研究所	18	39	
第122回	平成17年3月22日～23日	大阪大学	68	99	

1.2.2 ヒューマンインタフェース研究発表会

第108回	平成16年5月21日	東京農工大学	10	45	
第109回	平成16年7月16日～17日	登別温泉ホテルまほろば	24	50	
第110回	平成16年9月10日	ATR	13	39	
第111回	平成16年11月11日～12日	屋久島環境文化村センター	19	37	
第112回	平成17年1月28日	NTTドコモ	10	37	

1.2.3 グラフィクスとCAD研究発表会

第115回	平成16年7月12日	日本SGI	7	29	
第116回	平成16年8月18日～19日	ホテル花もみじ	14	20	
第117回	平成16年11月26日～27日	早稲田大学	23	64	
第118回	平成17年2月7日	富士通	13	45	

1.2.4 情報システムと社会環境研究発表会

第88回	平成17年5月21日	名城大学	10	18	
第89回	平成17年8月26日	化学会館	8	32	
第90回	平成16年11月17日	静岡大学	10	19	
第91回	平成17年3月15日～16日	専修大学	19	55	

1.2.5 情報学基礎研究発表会

第75回	平成16年5月13日～14日	神奈川近代文学館ホール	15	82	
第76回	平成16年9月16日～17日	早稲田大学	24	96	
第77回	平成16年11月26日	筑波大学	7	11	デジタル図書館ワークショップ
第78回	平成17年3月25日	化学会館	11	25	

1.2.6 オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会

第45回	平成16年6月18日	東京大学	10	20	
第46回	平成16年10月1日	九州大学	6	12	
第47回	平成16年12月9日～10日	北海道大学 / 名古屋大学	32	17	電子情報通信学会
第48回	平成17年3月10日～11日	沖縄セルラー電話	16	24	

1.2.7 グループウェアとネットワークサービス研究発表会

第52回	平成16年5月20日	化学会館	11	28	
第53回	平成16年9月16日～17日	岩手県立大学	12	27	
第54回	平成17年1月19日～20日	産業技術総合研究所	18	43	日本バーチャルリアリティ学会
第55回	平成17年3月17日～18日	北陸先端科学技術大学院大	20	43	

1.2.8 分散システム / インターネット運用技術研究発表会

第33回	平成16年5月13日～14日	佐賀大学	20	42	電子情報通信学会
第34回	平成16年7月30日	大阪大学	13	49	
第35回	平成16年9月24日	秋田大学	14	61	
第36回	平成17年3月18日	東京農工大学	16	51	

1.2.9 デジタル・ドキュメント研究発表会

第44回	平成16年5月28日	東京電機大学	4	16	
第45回	平成16年7月30日	北海道大学	9	16	電子情報通信学会
第46回	平成16年9月24日	凸版印刷	7	24	
第47回	平成16年11月26日	国立情報学研究所	4	15	

第48回	平成17年1月28日	化学会館	5	17	
第49回	平成17年3月25日	化学会館	11	36	

1.2.10 モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会

第29回	平成16年5月13日～14日	ホテルみゆきビーチ	32	31	電子情報通信学会
第30回	平成16年9月17日	NTT武蔵野研究開発センタ	11	47	
第31回	平成16年11月11日～12日	宮崎大学	23	35	
第32回	平成17年3月17日～18日	玉川大学	37	117	

1.2.11 コンピュータセキュリティ研究発表会

第25回	平成16年5月21日	ソニー	11	58	
第26回	平成16年7月20日～21日	徳島大学	55	45	電子情報通信学会
第27回	平成17年12月20日	化学会館	17	51	
第28回	平成17年3月22日～23日	大阪大学	68	107	

1.2.12 高度交通システム研究発表会

第17回	平成16年5月28日	横須賀リサーチパーク	7	30	
第18回	平成16年9月28日	機械振興会館	11	21	電子情報通信学会
第19回	平成16年11月11日～12日	宮崎大学	23	33	
第20回	平成17年3月10日～11日	ATR	15	39	

1.2.13 高品質インターネット研究発表会

第11回	平成16年5月26日	清稜山倶楽部	6	20	電子情報通信学会
第12回	平成16年7月12日	東京大学	6	8	電子情報通信学会
第13回	平成16年10月28日	産業技術総合研究所	6	9	電子情報通信学会
第14回	平成17年1月19日	大阪大学	20	14	電子情報通信学会

1.2.14 システム評価研究発表会

第9回	平成16年6月11日	東京農工大学	10	23	
第10回	平成16年8月1日	青森文化会館	5	16	
第11回	平成16年11月4日	高知工業技術センター	8	14	
第12回	平成17年3月23日	福岡システムLSI総合開発センター	7	14	

1.2.15 ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会

第4回	平成16年4月23日	名古屋大学	14	43	映像情報メディア学会
第5回	平成16年6月21日	東京大学	14	78	電子情報通信学会
第6回	平成16年11月10日	慶應義塾大学	16	82	
第7回	平成17年3月17日～18日	玉川大学	37	117	

1.3 フロンティア領域

1.3.1 自然言語処理研究発表会

第161回	平成16年5月13日～14日	東京電機大学	15	60	
第162回	平成16年7月15日～16日	北海学園大学	30	52	
第163回	平成16年9月16日～17日	早稲田大学	24	96	
第164回	平成16年11月4日～6日	広島市立大学	30	60	
第165回	平成17年1月11日～12日	NHK放送研究所	14	49	電子情報通信学会
第166回	平成17年3月10日～11日	名古屋大学	14	36	

1.3.2 知能と複雑系研究発表会

第136回	平成16年8月4日～6日	ホテルメゾン軽井沢	31	60	人工知能学会
第137回	平成16年10月28日～29日	ホテルメゾン軽井沢	10	28	人工知能学会
第138回	平成16年12月4日～7日	ベトナム ハノイ大学	44	72	電子情報通信学会・人工知能学会・ベトナム人工知能学会

第139回	平成17年3月14日～16日	北海道大学	31	28	電子情報通信学会
-------	----------------	-------	----	----	----------

1.3.3 コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会

第144回	平成16年5月6日～7日	大阪大学	31	89	
第145回	平成16年9月10日～11日	京都工芸繊維大学	29	65	電子情報通信学会
第146回	平成16年11月11日～12日	慶応大学	19	80	
第147回	平成17年1月20日～21日	京都大学	21	99	
第148回	平成17年3月3日～4日	千葉大学	32	99	

1.3.4 コンピュータと教育研究発表会

第74回	平成16年5月14日	東京国際大学	6	36	
第75回	平成16年7月3日	北海道大学	9	27	
第76回	平成16年10月2日	静岡大学	6	30	
第77回	平成16年11月20日	金沢学院大学	21	35	電子情報通信学会
第78回	平成17年2月18日～19日	内田洋行本社	20	75	

1.3.5 人文科学とコンピュータ研究発表会

第62回	平成16年5月28日	龍谷大学	8	40	
第63回	平成16年7月30日	岩手大学	9	36	
第64回	平成16年11月5日	凸版印刷	7	34	
第65回	平成17年1月28日	広島市立大学	7	33	

1.3.6 音楽情報科学研究発表会

第55回	平成16年5月7日	化学会館	8	39	
第56回	平成16年8月2日～3日	京都大学	14	59	
第57回	平成16年11月5日～7日	会津大学	29	25	日本音楽知覚認知学会 日本音響学会音楽音響 研究会
第58回	平成16年12月12日	九州大学	9	36	
第59回	平成17年2月18日	東京大学	13	52	

1.3.7 音声言語情報処理研究発表会

第51回	平成16年5月27日～28日	山形大学	9	21	電子情報通信学会
第52回	平成16年7月16日～17日	登別温泉	24	67	
第53回	平成16年10月22日	早稲田大学	11	71	
第54回	平成16年12月20日～22日	国際電気通信基礎研究所	56	92	電子情報通信学会
第55回	平成17年2月4日～5日	愛知：鯨亭	20	54	

1.3.8 電子化知的財産・社会基盤研究発表会

第24回	平成16年5月8日	国際大学	6	30	
第25回	平成16年9月2日～3日	北海道大学	16	29	
第26回	平成16年12月4日	武蔵工業大学	13	29	
第27回	平成17年3月19日	大阪市立大	6	41	

1.3.9 ゲーム情報学研究発表会

第12回	平成16年6月18日	九州工業大学	9	21	
第13回	平成17年3月1日	東京大学	7	23	

2. シンポジウム等

2.1 調査研究活動分

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	共催団体
先進的計算基盤システムシンポジウム SACSIS 2004	平成16年5月26日～28日	札幌コンベンションセンター	71	223	電子情報通信学会、IEEE CS
マルチメディア、分散、協調とモバイルシンポジウム	平成16年7月7日～9日	ホテル東洋館	179	272	
DAシンポジウム2004	平成16年7月21日～23日	遠鉄エンパイヤホテル	58	151	
第2回エンタテインメントコンピューティングワークショップ	平成16年8月20日～22日	はこだて未来大学	40	71	
情報教育シンポジウム	平成16年8月28日～30日	戸倉上山田温泉ホテル清風園	40	104	
組込みソフトウェアシンポジウム2004	平成16年10月14日～15日	日本科学未来館	42	233	
コンピュータセキュリティシンポジウム2003	平成16年10月20日～22日	北海道大学	140	284	
MPSシンポジウム	平成16年10月26日～27日	名古屋大学	62	149	
第9回ヒューマンインタフェースプロフェッショナルワークショップ	平成16年11月11日～12日	屋久島環境文化村センター		38	
グループウェアとネットワークサービス ワークショップ2004	平成16年11月11日～12日	鬼怒川グランドホテル	18	35	
第9回ゲームプログラミングワークショップ2004	平成16年11月12日～14日	箱根セミナーハウス	31	60	注1
コンピュータシステム・シンポジウム	平成16年11月16日～17日	機械振興会館	19	76	
データベースとWeb情報システムに関するシンポジウム	平成16年11月25日～26日	日本科学未来館	19	91	
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	平成16年12月1日～3日	ホテル海望	66	97	
分散システム/インターネット運用技術シンポジウム2004年度	平成16年12月9日～10日	広島市まちづくり市民交流プラザ	17	71	
人文科学とコンピュータシンポジウム2004	平成16年12月9日～10日	立命館大学	37	163	注2
2005年ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム (HPCS2005)	平成17年1月18日～19日	日本科学未来館	18	98	
高度交通システム2005シンポジウム	平成17年1月14日	日本科学未来館	8	87	
2005年情報学シンポジウム	平成17年1月20日～21日	日本学会会議講堂	25	54	注3
『事例から学ぶプロジェクト・マネジメント』	平成17年1月21日	日本IBM	4	63	
ウインターワークショップ・イン・伊豆	平成17年1月27日～28日	三菱電機 五景館南風楼	48	55	
インタラクシオン2005	平成17年2月28日～3月1日	学術総合センター	95	622	

注1) コンピュータ将棋協会、コンピュータ囲碁フォーラム

注2) 立命館大学21世紀COE「京都アート・エンタテインメント創成研究」

注3) 日本学会会議、国際学術連合科学技術データ委員会 (CODATA)、人工知能学会、日本化学会、日本数学会、日本地理学会、日本物理学会、情報知識学会、日本生物物理学会、日本ソフトウェア科学会、言語処理学会

2.2 教育活動分

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	共催団体
JABEE技術者教育プログラム自主研修会	平成16年8月3日～4日	奈良先端科学技術大学院大学	12	64	注1
JABEE 普及啓発シンポジウム (経産省委託事業)	平成16年10月19日	早稲田大学国際会議場	5	112	注2
JABEE技術者教育プログラム自主研修会	平成17年2月28日～3月1日	機械振興会館	13	33	注1

注1) 電気学会、電子情報通信学会、理工系情報学科協議会

注2) 主催：JABEE、企画・運営：情報処理学会、電気学会、電子情報通信学会

3. 事業活動

3.1 全国大会

名称	開催年月	場所	一般講演	招待講演	参加数
第67回全国大会	平成17年3月2日～4日	電気通信大学	1088	50	2364

3.2 FIT (情報科学技術フォーラム)

名称	開催年月	場所	一般講演	招待講演	参加数
FIT2004 第3回情報科学技術フォーラム	平成16年9月7日～9日	同志社大学	901	65	1916

共催：電子情報通信学会 (ISS・HCG)

3.3 連続セミナー：テーマ「安全・快適な社会を築く情報技術」

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
Webコントロール技術	平成16年6月22日	工学院大学	5	65
spam撃退術	平成16年7月21日	東京電機大学	4	64
ガーベジコレクション技術の基礎	平成16年9月28日	東京電機大学	4	46
地球シミュレーター	平成16年10月29日	東京電機大学	5	48
ヒューマノイド技術最前線	平成16年11月2日	東京電機大学	4	58
ICタグ	平成16年12月17日	東京電機大学	4	64

3.4 プログラミング・シンポジウム

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
夏のプログラミング・シンポジウム	平成16年8月22日～24日	KKRはこだて	15	33
第37回情報科学若手の会	平成16年9月4日～6日	愛知県労働者研修センター		28
第46回プログラミング・シンポジウム	平成17年1月11日～13日	ウェルシティ湯河原	27	124

4. その他

4.1 ソフトウェアジャパン

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	共催団体
ソフトウェアジャパン2004	平成16年10月13日	明治大学アカデミーコモン	29	364	情報処理推進機構

4.2 Winnyワークショップ

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
Winny事件を契機に情報処理技術の発展と社会的利益について考えるワークショップ	平成16年6月28日	東京電機大	6	300

付3．刊行物（機関誌・図書）一覧

1．会誌「情報処理」（月刊）

発行年月日	巻	号	発行部数	その他参考			
				特集テーマ	記事数	本文頁数	広告頁数
平成16年4月15日	45	4	23,300	安全で安心できるe-社会を実現するソフトウェア技術	20	112	10
平成16年5月15日	45	5	23,400	システムレベルデザイン	20	112	12
平成16年6月15日	45	6	23,480	自然言語による情報アクセス技術	20	112	12
平成16年7月15日	45	7	24,170	組み込みソフトウェア開発技術	22	112	10
平成16年8月15日	45	8	24,300	無線LAN技術を利用したインターネットの構築	21	112	8
平成16年9月15日	45	9	22,200	ユビキタスコンピューティングとネットワーク社会の到来に向けて	20	104	8
平成16年10月15日	45	10	22,410	音声情報処理技術の最先端	18	104	10
平成16年11月15日	45	11	22,700	電子社会を推進する暗号技術	26	112	8
平成16年12月15日	45	12	23,060	天文学をサポートする情報新技術	20	112	12
平成17年1月15日	46	1	23,290	本家！データマイニング手法	19	104	6
平成17年2月15日	46	2	23,530	ポストゲノム時代に高まるバイオ自然言語処理への期待：バイオ自然言語処理最新事情	24	120	12
平成17年3月15日	46	3	23,540	バイオインフォマティクス	22	119	8

2．「情報処理学会論文誌（ジャーナル）」（月刊）

発行年月日	巻	号	発行部数	その他参考			
				特集テーマ	論文数	図表数	本文頁数
平成16年4月15日	45	4	5,420		15	1	172
平成16年5月15日	45	5	5,480	システムLSIの設計技術と設計自動化	26	1	262
平成16年6月15日	45	6	5,500	オブジェクト指向とWeb技術	21	0	240
平成16年7月15日	45	7	5,550		6	1	64
平成16年8月15日	45	8	5,570	プライバシーを保護するコンピュータセキュリティ技術	29	1	314
平成16年9月15日	45	9	5,200		12	0	122
平成16年10月15日	45	10	5,290	Selected Papers from ICMU 2004	22	1	232
平成16年11月15日	45	11	5,350		7	1	219
平成16年12月15日	45	12	5,430	次世代移動体通信システム	31	0	192
平成17年1月15日	46	1	5,480	知の共有から知の協創へ	27	1	312
平成17年2月15日	46	2	5,510	新時代の分散処理とネットワーク（WebサービスとP2P）	30	0	348
平成17年3月15日	46	3	5,520	情報システム論文	22	1	250

3．「情報処理学会論文誌（トランザクション）」（不定期）

発行年月日	巻	号	トランザクション名	発行部数	その他参考	
					論文数	本文頁数
平成16年5月15日	45	SIG5 (PRO21)	プログラミング	440	6	88
平成16年5月15日	45	SIG6(ACS6)	コンピューティングシステム	950	26	266
平成16年6月15日	45	SIG7(TOD22)	データベースシステム	900	24	274
平成16年6月15日	45	SIG8(CVIM9)	コンピュータビジョンとイメージメディア	1200	5	52
平成16年7月15日	45	SIG9(PRO22)	プログラミング	440	6	84
平成16年9月15日	45	SIG10(TOD23)	データベースシステム	900	4	60
平成16年10月15日	45	SIG11(ACS7)	コンピューティングシステム	1000	41	474
平成16年11月15日	45	SIG12(PRO23)	プログラミング	440	7	100
平成16年12月15日	45	SIG13(CVIM10)	コンピュータビジョンとイメージメディア	1400	10	118
平成16年12月15日	45	SIG14(TOD24)	データベースシステム	900	7	81
平成17年1月15日	46	SIG1(PRO24)	プログラミング	450	12	157

平成17年1月15日	46	SIG2(TOM11)	数理モデル化と応用	1000	11	118
平成17年1月15日	46	SIG3(ACS8)	コンピューティングシステム	1050	8	106
平成17年3月15日	46	SIG4(ACS9)	コンピューティングシステム	1050	7	86
平成17年3月15日	46	SIG5 (TOD25)	データベースシステム	900	7	92

4. その他出版（新刊）

いずれも、判型：A5、委託出版社名：オーム社

発行年月	書籍名	発行部数	本文頁数
平成16年7月15日	IT textシリーズ 応用Web技術	2000	210
平成16年8月25日	IT textシリーズ コンピュータアーキテクチャ	2000	236
平成16年9月10日	IT textシリーズ コンパイラとバーチャルマシン	2000	212
平成16年10月15日	IT Textシリーズ（一般教育） 情報とコンピューティング	2000	212
平成16年10月15日	IT Textシリーズ（一般教育） 情報と社会	2000	212

5. その他出版（重版）

いずれも、判型：A5、委託出版社名：オーム社

平成16年2月20日	IT textシリーズ 情報と職業	1250	222
平成16年2月20日	IT textシリーズ 情報リテラシー	1000	248
平成16年2月20日	IT textシリーズ データベース	2000	186
平成16年5月15日	IT textシリーズ 音声認識システム	800	214
平成16年6月10日	IT textシリーズ ソフトウェア工学演習	500	226
平成16年6月10日	IT textシリーズ 情報リテラシー	600	248
平成16年6月25日	IT textシリーズ 情報セキュリティ	700	268
平成16年6月25日	IT textシリーズ アルゴリズム論	700	230
平成16年6月30日	IT textシリーズ ソフトウェア開発	800	224
平成16年9月5日	IT textシリーズ オペレーティングシステム	300	240
平成16年10月20日	IT textシリーズ データベース	2500	196
平成16年12月5日	IT textシリーズ ヒューマンコンピュータインタラクション	1400	240
平成16年12月5日	IT textシリーズ 情報と職業	1250	222
平成16年12月5日	IT textシリーズ オペレーティングシステム	300	240
平成16年12月10日	IT textシリーズ プログラム仕様記述論	2000	192
平成17年1月10日	IT textシリーズ 知識マネジメント	800	216
平成17年1月25日	IT textシリーズ 情報セキュリティ	700	268
平成17年2月28日	IT textシリーズ ソフトウェア工学演習	300	226
平成17年2月28日	IT textシリーズ アルゴリズム論	800	230
平成17年2月28日	IT textシリーズ ソフトウェア開発	800	224

付4．国際会議一覧

1．国際会議

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	内、海外参加数
The 7th International Conference on High Performance Computing and Grid in Asia Pacific Region (HPC Asia 2004)	平成16年7月20日～22日	大宮ソニックシティ	74	448	84
11th IEEE International Requirements Engineering Conference (RE'04)	平成16年9月6日～10日	立命館大学	82	372	152
SAINT2005	平成17年1月31日～2月4日	イタリア	56	252	

共催：いずれもIEEE-CS

2．小規模国際会議

名称	開催年月	場所	参加者数
Second International Symposium on Ubiquitous Computing Systems (UCS2004)	平成16年11月8日～9日	慶應義塾大学	126

付5.表彰等 *いずれも所属()内は選定当時、掲載は順不同

1. 新名誉会員(3名) [第48回通常総会(平成17年5月)表彰][理事会(平成17年1月)]

- ・ Blagovest Hristov Sendov (ブルガリア共和国大使館)
 - ・ 笈田 弘 (沖電気)
 - ・ 土居範久 (中央大)
-

2. 功績賞(2名) [第48回通常総会(平成17年5月)表彰][功績賞選定委員会(平成17年2月)]

- ・ 片山卓也 (北陸先端大)
 - ・ 田中英彦 (情報セキュリティ大学院大)
-

3. 新フェロー(11名) [第67回全国大会(平成17年3月)表彰][フェロー選定委員会(平成16年12月)]

「 」内:対象業績

- ・ 浅野哲夫 (北陸先端大) 「離散アルゴリズムと計算幾何学の発展に対する貢献」
 - ・ 石田 亨 (京大) 「自律エージェントとマルチエージェントシステム研究に対する貢献」
 - ・ 尾家祐二 (九工大) 「先進的情報ネットワークに関する研究とその実現推進に対する貢献」
 - ・ 清木 康 (慶大) 「高機能データベースシステムおよび意味的連想検索に関する研究」
 - ・ 志村正道 (武蔵工大) 「知的情報処理に関する先端的研究と情報処理教育への貢献」
 - ・ 田中穂積 (東工大) 「自然言語処理技術の基礎と応用に関する研究」
 - ・ 当麻喜弘 (東京電機大) 「フォールトトレラントシステムの研究ならびに情報処理教育への貢献」
 - ・ 中島秀之 (はこだて未来大) 「先駆的ソフトウェア技術の研究開発と技術レベル向上への貢献」
 - ・ 根元義章 (東北大) 「コンピュータネットワークの知的管理技術および高度パターン認識技術の先駆的研究への貢献」
 - ・ 箱崎勝也 (電通大) 「電子計算機システム研究開発・評価・応用と情報産業振興への貢献」
 - ・ 横矢直和 (奈良先端大) 「コンピュータビジョンおよび複合現実感に関する研究・教育への貢献」
-

4. 論文賞(8件22名) [第48回通常総会(平成17年5月)表彰][論文賞選定委員会(平成17年3月)]

- ・ 並列トポロジカル整列アルゴリズム 多田昭雄(崇城大)、右田雅裕、中村良三(熊本大)
 - ・ スレッド局所性を利用したJavaロックの高速化 河内谷清久仁、古関 聡、小野寺民也(日本IBM)
 - ・ 静的解析に基づく侵入検知システムの最適化 阿部洋丈(筑波大)、大山恵弘(東大)、岡 瑞起(筑波大)、加藤和彦(筑波大/JST)
 - ・ ダイナミックタイムワーピングのための類似検索手法 櫻井保志(NTT)、吉川正俊(名大)
 - ・ SmartMusicKIOSK: サビ出し機能付き音楽試聴機 後藤真孝(JST/産総研)
 - ・ 単板カラー撮像素子のRAWデータを利用した高精細画像復元 後藤知将(ソニー)、奥富正敏(東工大)
 - ・ P2Pデータ共有における暗号化データのアクセス制御 渡邊裕治、沼尾雅之(日本IBM)
 - ・ 電子透かし検出に適した誤り訂正符号の拡張方式 藤井康広、越前 功、山田隆亮、手塚 悟(日立)、吉浦 裕(電通大)
-

5. 業績賞(3件15名) [第48回通常総会(平成17年5月)表彰][業績賞選定委員会(平成17年3月)]

「 」内:対象業績、*:代表貢献者

- ・ 「IBM Java Just In Time Compilerの研究開発」 *中谷登志男、小松秀昭、小野寺民也、菅沼俊夫、石崎一明(日本IBM)
 - ・ 「乗り換え案内・地図・Web マーケティング技術によるインターネットサービス事業の創出」 *河田 勉、村永哲郎、小山徳章、久保田浩明(東芝)、唐崎幸弘(駅前探険倶楽部)
 - ・ 「1チップ10ギガビットイーサネットスイッチLSIの開発とスイッチの製品化」 *清水 剛、堀江健志、服部 彰(米 富士通研)、木村康則、西川克彦(富士通研)
-

6. 研究開発奨励賞(3名) [第48回通常総会(平成17年5月)表彰][研究開発奨励賞選定委員会(平成17年3月)]

「 」内:対象研究開発内容

- ・ 木下真吾(NTT) 「RFIDプライバシー保護技術に関する研究開発」
 - ・ 張山昌論(東北大) 「リアルワールド知能システム用プロセッサの開発」
 - ・ 牧野和久(大阪大) 「離散列挙問題に対するアルゴリズムの研究」
-

7. 山下記念研究賞 (19名)

[各研究発表会等で表彰] [各領域委員会 (平成17年6月~7月)]

< コンピュータサイエンス領域 >

- ・ SNPおよび臨床データベースを対象としたハプロタイプ解析による知識発見システムの実現方式 [データベースシステム研究会]
吉田尚史 (慶大)
- ・ データストリーム処理のための効率良いXPath問合せ機構 [データベースシステム研究会]
森川裕章 (富士通)
- ・ 静的解析に基づく侵入検知システムの最適化 [システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会]
阿部洋丈 (JST)
- ・ UMLを用いたシステムレベル設計手法の提案 [システムLSI設計技術研究会]
朱 強 (富士通研)
- ・ CMOS論理ゲートにおけるセル内特性ばらつきを考慮した統計的遅延モデル化手法 [システムLSI設計技術研究会]
岡田健一 (東工大)
- ・ 地球シミュレータ上のハイブリッドプログラミングの性能評価 [ハイパフォーマンスコンピューティング研究会]
板倉憲一 (海洋研究開発機構)
- ・ VLANを用いた複数パスを持つL2 Ethernetネットワーク [ハイパフォーマンスコンピューティング研究会]
工藤知宏 (産総研)
- ・ 双対制限された列挙問題: 離散分布に対する交差不等式とその応用 [アルゴリズム研究会]
牧野和久 (阪大)

< 情報環境領域 >

- ・ 近傍関係を活用した情報検索 [ヒューマンインタフェース研究会]
増井俊之 (産総研)
- ・ 阪神・淡路大震災の経験を基にしたリスク対応型地域空間情報システムの開発 [情報システムと社会環境研究会]
畑山満則 (京大)
- ・ 索性論理に基づくXML文書ルール記述言語DRDL [情報学基礎研究会]
今村 誠 (三菱電機)
- ・ 大学におけるインシデント対応の一事例 [分散システム/インターネット運用技術研究会]
鳩野逸生 (神戸大)
- ・ 変換結果スキーマ指向のXML変換 [デジタル・ドキュメント研究会]
鬼塚 真 (NTT)
- ・ PKIでの証明書失効に必要な通信量の確率論的評価 [コンピュータセキュリティ研究会]
田中直樹 (ソニー)
- ・ 一方向性ハッシュ関数を用いた階層構造を持つアクセス制御方式 [コンピュータセキュリティ研究会]
須賀祐治 (キヤノン)
- ・ デフォルトマップ生成のための道路変形モデルとそのシステム評価 [高度交通システム研究会]
丸山貴志子 (日立)

< フロントティア領域 >

- ・ パラ言語の理解能力を有する対話ロボット [音声言語情報処理研究会]
藤江真也 (早大)
- ・ ユーザーモデルを導入したパス運行情報案内システムの実験的評価 [音声言語情報処理研究会]
駒谷和範 (京大)
- ・ コンテンツ流通ビジネスのモデル化と評価に関する検討 [電子化知的財産・社会基盤研究会]
関亜紀子 (早大)

8. 大会優秀賞・大会奨励賞

[第67回全国大会 (平成17年3月) 表彰] [第66回全国大会 大会優秀賞・大会奨励賞選定委員会]

(1) 大会優秀賞 (11名)

- ・ 會澤 実 (東芝)
- ・ 磯村厚誌 (名工大)
- ・ 加納政芳 (名工大)
- ・ 佐々木博敏 (電通大)
- ・ 竹原一彰 (青山学院大)
- ・ 寺川佳代子 (常磐会学園大)
- ・ 野口 貴 (青山学院大)
- ・ 馬場達也 (NTTデータ)
- ・ 林 秀樹 (通信・放送機構)
- ・ 平田圭二 (NTT)
- ・ 村上裕人 (青山学院大)

(2) 大会奨励賞 (9名)

- ・ 伊藤孝行 (名工大)
- ・ 小野真和 (東京電機大)
- ・ 桐村昌行 (三菱電機)
- ・ 田代慎治 (名工大)
- ・ 西健太郎 (名工大)
- ・ 服部宏充 (名工大)
- ・ 平岡佑介 (名工大)
- ・ 山口翁央 (名工大)
- ・ 山本倫也 (岡山県大)

9. 優秀教育賞 (1名)

[第67回全国大会 (平成17年3月) 表彰] [教育委員会]

- ・ 皆本晃弥 (佐賀大)

10. 学会活動貢献賞 (6件)

[第67回全国大会 (平成17年3月) 表彰] [総務財務運営委員会 (平成17年1月)]

「 」内: 貢献内容

- ・ 天野真家 (湘南工科大) 「学会Web ページの英文化」
- ・ 丸山 宏 (日本IBM) 「学会Web ページの英文化」
- ・ 歴史特別委員会 (コンピュータ博物館実行小委員会を含む) 「コンピュータ博物館の構築」
- ・ 柴田義孝 (岩手県立大) 「論文誌の査読貢献」
- ・ 捨垣博章 (東京電機大) 「論文誌の査読貢献」
- ・ 宗森 純 (和歌山大) 「論文誌の査読貢献」

11. 標準化功績賞 (2名)

[情報規格調査会総会 (平成17年7月) 表彰] [情報規格調査会]

- ・小町祐史（パナソニック コミュニケーションズ）
- ・東田正信（NTT-AT）

12. 標準化貢献賞（12名）

[情報規格調査会総会（平成17年7月）表彰] [情報規格調査会]

- | | | | |
|---------------|----------------|------------------|--------------|
| ・今井和雄（NTTドコモ） | ・上野幾朗（三菱電機） | ・小川 清（名古屋市工業研究所） | |
| ・黒木健司（日本IBM） | ・塩谷和範（SRA先端技研） | ・白鳥孝明（日本IBM） | ・妹尾孝憲（松下電器） |
| ・高木 渉（日立） | ・近澤 武（三菱電機） | ・布施剛之（ソニー） | ・堀内 一（東京国際大） |
| ・脇村慶明（アトー） | | | |
-

以上